

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-234	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

● 教科書の理念

この教科書は、「教育基本法」「学校教育法」の規定や理念を踏まえ、特に以下の点に留意して編修しました。

- ①豊かな人間性・創造性を身につけさせる。
- ②平和で民主的な国家及び社会の形成者たる人物を育成する。
- ③社会において果たさなければならない使命を自覚させる。
- ④それぞれの個性に応じた進路を決定するのに必要な幅広い知識と教養を高める。
- ⑤社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を育む。
- ⑥主体的に考え、周囲との対話をを行うことを通じて、深い学びへと導く。

● 教材の選定と配列

教育基本法第2条の1～5号に示された教育の目標を達成するために必要な教材を精選して掲載しました。
教材の選定と配列にあたっては、次のような点に意を用いました。

- ①論理的思考力を身につけるとともに、さまざまな観点から物事を捉えたり対象化したりすることで、周囲や社会について健全な批評力を養うことのできる教材を選定しました。
- ②適切にことばや文章を用いて表現することのできる力を養い、他者と深く、また幅広いコミュニケーションをはかる意欲を喚起する教材を選定しました。
- ③幅広いテーマを取り上げることで、深い知識と教養を身につけ、生涯にわたって主体的・対話的で深い学びへと導かれるよう意を払いました。
- ④教材がたがいに有機的に繋がり、学習が進むにつれ、国語の資質および能力が的確に身についていくことを意識して教材を配列しました。
- ⑤「思考力・判断力・表現力」の3領域のうち、「話すこと・聞くこと」については3単元、「書くこと」については3単元、「読むこと」については4単元と、単元をバランス良く配置し、効果的に言語能力を高めることができるよう配列しました。

● 学習を支える工夫

各単元および教材を通じて、高校生の資質・能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導くために、次のような点に意を払いました。

- ①単元の目標：単元の冒頭に、それぞれの単元を通じて身につけたい資質・能力を端的に示しました。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域の、どの領域をのばす単元であるかを明示しました。
- ②視点：教材の冒頭に、身につけたい資質・能力について、教材の着目すべき点を掲げました。
- ③学習：教材の末尾に「課題」「言語活動」「確認」「重要漢字」を設け、資質・能力を身につけるにあたって、教材のどのような点を活用することができるかを明示しました。
- ④実践：単元の末尾に、言語能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導く具体的な活動を示しました。
- ⑤デジタル・コンテンツ：学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意いたしました。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条第一号から第五号との対応を下記に示します。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1) 問うこと、語ること ・境目（川上弘美） ・サイエンスの視点、アートの視点（齋藤亜矢） 【参考】一般化のワナ（苦野一徳）	「境目」や「サイエンスの視点、アートの視点」および「実践『質問する力』を育てよう」を通して、探究の原動力でもある「問い合わせ」を手掛かりに幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。（第1号）	p9～28
2) 評論文への招待 ・ことばとは何か（内田樹） ・デジタル社会（黒崎政男） ・システムと変異（中屋敷均）	「ことばとは何か」でことばの力を、また「デジタル社会」で現代社会の仕組みを読み取り、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。また「システムと変異」において自然の働きのダイナミックさに目を向けることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。（3号、4号）	p29～54
3) ことばで伝える思いと考え方 ・ことばがつくる女と男（中村桃子） ・身体、この遠きもの（鷺田清一） ・贈り物と商品の違い（松村圭一郎）	「ことばがつくる女と男」ではジェンダーについて、「身体、この遠きもの」では人間の身体の抽象性について、「贈り物と商品の違い」ではコミュニケーションの在り方について考えることで、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。（3号）	p55～84
4) 情報と推論 ・失われた両腕（清岡卓行） ・兎が自分でつづって語る生活の話（シートン） 【参考】ナイチングールが作成した統計図表（金井一薰）	「失われた両腕」では芸術の奥深さを論じた文章から、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。「兎が自分でつづって語る生活の話」では生物の観察を綴った文章から、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。（3号、4号）	p85～106
5) 話し合いから議論へ ・誰かの靴を履いてみること（ブレイディみかこ） ・〈私〉時代のデモクラシー（宇野重規）	「誰かの靴を履いてみると」では著者のボランティア活動の記録から、「〈私〉時代のデモクラシー」では現代社会における民主主義の在り方を論じた著者の考え方を学ぶことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。（1号、3号）	p107～128
6) 根拠から主張へ ・魔術化する科学技術（若林幹夫） ・未来は存在しない（野矢茂樹） ・マルジャーナの知恵（岩井克人）	「魔術化する科学技術」では科学への態度について、「未来は存在しない」では哲学的な思考について、「マルジャーナの知恵」では経済における差異の価値についての筆者の論考を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。（1号）	p129～152

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
7) 伝えること、受け止めること ・ポスト真実時代のジャーナリズム（国谷裕子） ・会話と対話（長田弘） ・記憶する身体（伊藤亜紗）	「ポスト真実時代のジャーナリズム」および「会話と対話」では、真摯なコミュニケーションの大切さを学び「記憶する身体」では障害をもつ人から見た世界のありように関心を寄せることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことと、正義と責任、男女の平等、他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。（2号、3号）	p153～176
8) 表現のみがき方 ・贅沢の条件（山田登世子） ・瓦を解かないこと（堀江敏幸）	「贅沢の条件」では近代以前と以後の人間のありようを比較し、「瓦を解かないこと」では日本語のもつ重層性を確認することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。（第5号）	p177～194
9) 主張の論理的な伝え方 ・来るべき民主主義（國分功一郎） ・主体という物語（小坂井敏晶）	「来るべき民主主義」では民主主義のありようを学者のことを通じて学ぶことで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。「主体という物語」では「主体」という概念の危うさを学ぶことで個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。また、「生活の中のことば—手紙・案内」や「宣伝のことば—ポップ・広告」などの言語活動を通じて職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。（2号、3号）	p195～212
10) 複眼的な視点 ・開かれた文化（岡真理） ・人新世における人間（吉川浩満） ・名づけと所有（西谷修）	「開かれた文化」では文化相対主義の眞の意味について学ぶことで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。「人新世における人間」においては環境に対する人間の影響について、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。「名づけと所有」においては「名づけ」という行為の意味についてかんがえることで、正義と責任、他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。（3号、4号、5号）	p213～241

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・中学校までの学習内容の成果を発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うために、教材および「実践」などの言語活動におけるテーマや内容に意を用いました。（学校教育法第51条第一号）
- ・「実践」における言語活動および「読書案内」で紹介した書籍、「要約作成のポイント」などのコラムを通して、社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させることに意を払いました。（学校教育法第51条第二号）
- ・現代社会をテーマとする文章を扱い、また、複数の資料を比較して読むことにより、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うようにしました。（学校教育法第51条第三号）
- ・教材にはユニバーサル・フォントを用いて、多くの人の読みやすい紙面づくりに配慮しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-234	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則および「現代の国語」に掲げられた目標を効果的に達成するために、特に以下の点に留意して編集しました。

①育成したい資質・能力を明確化した単元構成 単元は、生徒に身につけさせたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」をもとに構成しました。

「思考力・判断力・表現力」については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の、どの領域に関する言語能力を身につけたいかを分かりやすく示しました。

また単元ごとに「単元の目標」を示し、生徒が各単元を通じて、どのような資質・能力を身につけることができるのか、見通しを立てたり、学習後の振り返りを行ったりすることができるようになりました。掲載した教材にはそれぞれ冒頭に「視点」を示し、各教材を通じて身につけたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を意識的に学習できるようにしました。

②発達段階に応じた教材を厳選 生徒の心身の発達段階を十分に考慮して、高校教育の基礎を固め、さらに後続する「論理国語」への移行が円滑にできるよう、親しみやすい教材から、問題意識の鮮明な教材まで厳選して掲載しました。また、教材として適度な長さで、なおかつ奥行きのある文章を選びすぐりました。

③「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す言語活動 全ての教材の末尾に「言語活動」を、全ての単元の末尾に「実践」を示し、単元を通して、「主体的・対話的で深い学び」を行うことができるようになりました。

④学習者の自学自習に便利な工夫 教材の理解を助けるために、脚間を付して、文脈を的確に捉えることができるようになりました。また「学習」には「確認」を設け、教材の内容を正確に捉えることができるようになりました。各見開きに重要漢字・語句を、「学習」には「重要漢字」を付し、生徒の語彙を増やすことができるよう工夫しました。

⑤読書指導の充実 「学びに向かう力、人間性」を支える工夫として、読書の意義を理解できるように適宜「読書案内」を設け、また教材ごとに、著者の主な著書を紹介しました。

⑥誌面の工夫 全体に見やすいレイアウトとなるよう配慮するとともに、学習の効率化と活性化を図るために多色刷りを用い、必要な図版や地図などを適宜カラーで掲載しました。また、多くの生徒の読みやすさに配慮して、ユニバーサル・デザイン・フォントを用いました。

⑦デジタル・コンテンツ 学習を深める手立ての一つとして、教材に関するインターネット上の情報を適宜示し、

二次元コードを用いて、情報を示したウェブページを掲載しました。

2. 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	実践	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
1) 問うこと、語ること	・境目（川上弘美） ・サイエンスの視点、アートの視点（齋藤亜矢） 《参考》一般化のワナ（苦野一徳）	「質問する力」を育てよう	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ	A ア	p9～28	6
2) 評論文への招待	・ことばとは何か（内田樹） ・デジタル社会（黒崎政男） ・システムと変異（中谷敷均） ◆評論読解のポイント	評論文の一節を引用し、自分の意見を述べよう	(1) ア, ウ, エ, オ, カ (2) ア, ウ	C ア	p29～54	5
3) ことばで伝える思いと考え方	・ことばがつくる女と男（中村桃子） ・身体、この遠きもの（鷺田清一） ・贈り物と商品の違い（松村圭一郎） ◆要約作成のポイント	メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう	(1) ア, ウ, エ, オ, カ (2) イ, オ	B ア, イ, ウ	p55～84	10
4) 情報と推論	・失われた両腕（清岡卓行） ・兎が自分で綴って語る生活の話（E・シートン／内山賢次訳） 《参考》ナイチングールが作成した統計図表（金井一薰）	社会を作ることば—一情報の整理と活用	(1) ア, ウ, エ, オ, カ (2) ウ, エ	C ア, イ	p85～106	5
5) 話し合いから議論へ	・誰かの靴を履いてみると ・〈私〉時代のデモクラシー 【読書案内】この場で重なることばと声	「議論する力」を育てよう	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア (3) ア	A ア, イ, エ, オ	p107～128	7

図書の構成・内容			学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	実践	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
6) 根拠から主張へ	<ul style="list-style-type: none"> ・魔術化する科学技術（若林幹夫） ・未来は存在しない（野矢茂樹） ・マルジャーナの知恵（岩井克人） <p>【読書案内】思考を鍛える</p>	議論の前提を明確化しよう	(1) ア, ウ, エ, オ (2) ア, オ (3) ア	C ア	p129 ～ p152	5
7) 伝えること、受け止めること	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスト真実時代のジャーナリズム（国谷裕子） ・会話と対話（長田弘） ・記憶する体（伊藤亜紗） 	インタビューの作法／ビブリオバトルに挑戦しよう	(1) ア, イ, ウ, エ, カ (2) イ, エ	A ア, ウ, エ, オ	p153 ～ 176	7
8) 表現のみがき方	<ul style="list-style-type: none"> ・贅沢の条件（山田登世子） ・瓦を解かぬこと（堀江敏幸） 	宣伝のことば—— ポップ・広告 ／生活の中のことば——手紙・案内	(1) ア, イ, ウ, エ, オ (2) ア, オ	B ア, イ, エ	p177 ～ 194	10
9) 主張の論理的な伝え方	<ul style="list-style-type: none"> ・来るべき民主主義（國分功一郎） ・主体という物語（小坂井敏晶） <p>【読書案内】書くことが「世界」を創る</p>	意見を文章にまとめてみよう	(1) ア, ウ, エ, オ (2) ア, イ, エ (3) ア	B ア, イ, ウ, エ	p195 ～ 212	10
10) 複眼的な視点	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた文化（岡真理） ・人新世における人間（吉川浩満） ・名づけと所有（西谷修） 	対比の働きを理解しよう	(1) ア, ウ, エ, カ (2) ア, イ, ウ, エ	C ア, イ	p213 ～ 241	5

合計 70

常用漢字以外の使用漢字一覧（数字は初出ページを示す。）

滿 塵 垢 焉 淘 繫 獅 苦 峙 壽 杖 頰 翳 藝 齋 霽 鮚 犀 蒙 弘
(43) (41) (41) (40) (38) (34) (34) (26) (22) (20) (19) (19) (17) (17) (16) (12) (12) (11) (10) (10)

灌 兔 答 紗 袄 濶 掌 乖 酷 鬪 倦 脖 沁 驚 繹 棲 曝 嶺 鞠 孔
(94) (94) (78) (75) (75) (66) (65) (65) (65) (64) (63) (63) (63) (54) (47) (47) (46) (46) (45)

苛 晰 謬 扈 跋 梁 吊 套 嘩 喧 壢 埃 縡 趾 犧 鷹 駢 怃 燕 蔽
141 134 133 133 133 118 118 114 114 111 98 97 97 96 96 94 94 94 94

輶 釉 磔 檳 軋 豐 紲 播 紗 脆 嘶 蒨 截 闊 脇 嬉 瞰 俯 胡
186 186 185 184 184 178 177 176 171 165 163 161 161 161 160 158 158 157 157 148

繫 謳 邁 碩 紅 浩 貶 僨 鼠 鳩 旨 嘘 捏 閨 衍 稔 檻 葦 峻 倭
232 230 227 224 222 222 219 219 217 217 217 206 205 204 199 193 187 186 186 186

則 (つて) (78)	抗 (う) (64)	一 (か) (63)	満 (みつ) (43)	均 (ひとし) (43)	容 (い) (れ物) (37)	政 (まさ) (37)	男 (お)	樹 (たつ) (30)	う	(見) (み)	則 (のり) (21)	忠 (ただ) (21)	和 (かず) (20)	貴 (たか) (20)	極 (ぎわ) (20)	坂 (ばん) (18)	敏 (さとし) (18)	秋 (さんま) (刀魚) (11)	美 (み) (10)	眼 (め) (口絵三)
-------------------	------------------	------------------	-------------------	--------------------	--------------------------	-------------------	----------	-------------------	---	------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	----------------------------	------------------	-------------------

披 (ひら) (162)	結城 (ゆうき)	隆 (たか)	勝 (かつ)	弘 (ひろし)	長 (おさ)	裕 (ひろ)	雜 (さい)	三 (ざぶ)	克 (かつ)	拓 (ひら)	樹 (き)	来 (きた)	術 (すべ)	夫 (お)	介 (すけ)	伸孝 (のぶたか)	敏睛 (としはる)	秀信 (ひでのぶ)	重規 (しげき)
		<u>162</u>	<u>161</u>	<u>160</u>	<u>160</u>	<u>154</u>	<u>152</u>	<u>152</u>	<u>144</u>	<u>143</u>	<u>137</u>	<u>135</u>	<u>133</u>	<u>130</u>	<u>127</u>	<u>127</u>	<u>127</u>	<u>127</u>	<u>118</u>

稔 (みのる)	仁 (ひとし)	栄洋 (ひでひろ)	明日香 (あすか)	元興 (がんこう)	飛鳥 (あすか)	百濟 (くだら)	崇 (す)	舍人 (とねり)	鈍 (にび)	美濃 (みの)	三河国 (みかわのくに)	欠片 (かけら)	如何 (いかん)	敏 (とし)	親方 (マイスター)	尋 (ひろ)	大 (ひろ)	如 (かし)	活 (かす)
<u>193</u>	<u>193</u>	<u>193</u>	<u>187</u>	<u>187</u>	<u>187</u>	<u>186</u>	<u>186</u>	<u>186</u>	<u>186</u>	<u>186</u>	<u>186</u>	<u>185</u>	<u>185</u>	<u>184</u>	<u>180</u>	<u>176</u>	<u>176</u>	<u>171</u>	<u>163</u>

住 (すみ)	處 (かた)	彼 (かなた)	修 (おさむ)	徒 (あだ)	所 (ゆえん)	苛 (いら)	滿 (みつ)	是 (これ)	敏 (としあき)	活 (アクション)	仕 (ワーカー)	勞 (レイバー)
<u>237</u>	<u>237</u>	<u>232</u>	<u>229</u>	<u>227</u>	<u>222</u>	<u>222</u>	<u>212</u>	<u>203</u>	<u>198</u>	<u>198</u>	<u>198</u>	<u>198</u>

出典一覧表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等		
10~14	境目	国語教材	あるようないような	79~82	川上弘美	中央公論新社	1999年		
16~22	サイエンスの視点、アートの視点	国語教材	ルビンのツボ 芸術する体と心	9~15	齋藤亜矢	岩波書店	2019年		
24~25	「質問する力」を育てよう	国語教材						編集委員会による書き下ろし	
26~28	一般化のワナ	国語教材	はじめての哲学的思考	56~61	苦野一徳	筑摩書房	2017年		
30~35	ことばとは何か	国語教材	寝ながら学べる構造主義	60~67	内田樹	文藝春秋	2002年		
37~41	デジタル社会	国語教材	身体にきく哲学	87~96	黒崎政男	NTT出版	2005年		
43~48	システムと変異	国語教材	科学と非科学	136~141	中屋敷均	講談社	2019年		
50~51	評論文の一節を引用し、自分の意見を	国語教材						編集委員会による書き下ろし	
52~54	評論読解のポイント	国語教材						編集委員会による書き下ろし	
56~61	ことばがつくる女と男	国語教材	〈性〉と日本語—ことばがつくる女と男	25~29	中村桃子	NHK出版	2007年		
63~70	身体、この遠きもの	国語教材	普通をだれも教えてくれない	101~107	鷺田清一	筑摩書房	1998年		
72~79	贈り物と商品の違い	国語教材	うしろめたさの人類学	24~29 58~61	松村圭一郎	ミシマ社	2017年		
81~82	メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう	国語教材						編集委員会による書き下ろし	
83~84	要約作成のポイント	国語教材						編集委員会による書き下ろし	
86~92	失われた両腕	国語教材	手の変幻	12~16	清岡卓行	講談社	1990年		
94~98	兎が自分でつづって語る生活の話	国語教材	シートン全集 第17巻	393~397	E・シートン	評論社	1951年		
100~103	社会をつくることば	国語教材						編集委員会による書き下ろし	

出典一覧表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等		
104~106	ナイチングールが作成した統計図表	国語教材	よみがえる天才9 ナイチングール	83~87	金井一薰	筑摩書房	2023年		
108~116	誰かの靴を履いてみること	国語教材	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	76~85	ブレイディみかこ	新潮社	2019年		
118~124	〈私〉時代のデモクラシー	国語教材	〈私〉時代のデモクラシー	2~10	宇野重規	岩波書店	2010年		
126~127	「議論する力」を育てよう	国語教材						編集委員会による書下ろし	
128	読書案内 この場で重なる言葉と声	国語教材						編集委員会による書下ろし	
130~135	魔術化する科学技術	国語教材	社会学入門一步前	109~119	若林幹夫	NTT出版	2007年		
137~142	未来は存在しない	国語教材	他者の声 実在の声	300~305	野矢茂樹	産業図書	2005年		
144~148	マルジャーナの知恵	国語教材	二十一世紀の資本主義論	115~119	岩井克人	筑摩書房	2000年		
150~151	議論の前提を明確化しよう	国語教材						編集委員会による書下ろし	
152	読書案内 思考を鍛える	国語教材						編集委員会による書下ろし	
154~158	ポスト真実時代のジャーナリズム	国語教材	書下ろし		国谷裕子				
160~163	会話と対話	国語教材	なつかしい時間	22~25	長田弘	岩波書店	2013年		
165~172	記憶する体	国語教材	記憶する体	118~125	伊藤亜紗	春秋社	2019年		
174~175	インタビューの作法	国語教材						編集委員会による書下ろし	
176	ビブリオバトルに挑戦しよう	国語教材						編集委員会による書下ろし	
178~182	贅沢の条件	国語教材	贅沢の条件	187~191	山田登世子	岩波書店	2009年		
184~188	瓦を解かないこと	国語教材	正弦曲線	71~74	堀江敏幸	中央公論新社	2009年		
190~192	宣伝のことば——ポップ・広告	国語教材						編集委員会による書下ろし	

出典一覧表

申請図書			出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等		
193～194	生活の中のことば——手紙・メール	国語教材						編集委員会による書下ろし	
196～201	来るべき民主主義	国語教材	来るべき民主主義——小平市都道328号線と近代政治哲学の諸問題	113～118	國分功一郎	幻冬舎	2013年		
203～208	主体という物語	国語教材	責任という虚構	16～19	小坂井敏晶	東京大学出版会	2008年		
210～211	意見を文章にまとめてみよう	国語教材						編集委員会による書下ろし	
212	読書案内 書くことが「世界」を創る	国語教材						編集委員会による書下ろし	
214～220	開かれた文化	国語教材	大航海	76～83	岡真理	新書館	2001年		
222～230	人新世における人間	国語教材	人間の解剖はサルの解剖のための鍵である	163～172	吉川浩満	河出書房新社	2018年		
232～239	名づけと所有	国語教材	書き下ろし		西谷修				
241	対比の働きを理解しよう	国語教材						編集委員会による書下ろし	

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。

② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。

③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。

② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次欄に巻号、発行年月日等を示す。

③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することができる情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることを注意すること(別途契約を締結する場合を備考4の内容について確認しました。

図版出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
口絵一	岡本太郎「若い夢」	写真						岡本太郎記念館／広島現代美術館提供
口絵二	氷川清話	写真						江戸東京博物館
口絵二	勝海舟	写真						江戸東京博物館
口絵三	一九三六年、アメリカ(ドロシア・ラング)	写真						自社所蔵
口絵三	子供の遊戯(ブリューゲル 一五六〇年)	絵画						自社所蔵
口絵四	ブラインドマラソンで活躍する選手	写真						朝日新聞フォトアーカイブ提供
口絵四	車いすバスケットボール選手たち	写真						アプロ提供aflo_35606828
口絵五	地質年代区分とそれぞれの年代における生物をイメージ化したイラスト	絵画						アプロ提供aflo_152946659
11	アメリカ合衆国とカナダの国境となるナイアガラの滝にかかるレインボーブリッジ。橋の中央が国境。	写真		TOSHIYUKI USHIJIMA 撮影				SEBUN PHOTO/amanaimages 提供
11	金木犀	写真						アマナイメージズ提供
12	鰯雲	写真						アマナイメージズ提供
13	夜と朝の境目	写真		飯島裕撮影				アマナイメージズ提供
14	川上弘美氏プロフィール	写真						自社所蔵
19	土偶(群馬県吾妻郡吾妻町郷原出土)	写真						PPS通信提供 TOP16097203_Max
20	フラクタル日除け(京都大学)	写真						酒井敏研究室提供
21	屋久島の杉	写真						pixta提供60844250_L
22	斎藤亜矢氏プロフィール	写真						著者提供
25	スピーチテーマ【環境問題】	図		片岡ミチ				自社所蔵
30	ゾシュール	写真						自社所蔵
32	英仏対応表	図						自社作成
32	日英対応表	図						自社作成
34	星雲	写真						Pixta提供
35	内田樹氏プロフィール	写真						自社所蔵
40	パノプティコン	写真						PPS通信提供
41	黒崎政男氏プロフィール	写真						自社所蔵
44	図1.不均一量化によるDNA複製のモデル	図	科学と非科学	137	中屋敷均	講談社	2019年	
46	太平洋中央海嶺の熱水噴出孔	写真						アマナイメージズ提供
47	Deinococcus radiodurans	写真		Michael Daly撮影				wikipedia パブリックドメイン
48	中屋敷均氏プロフィール	写真						自社所蔵
51	引用をフリップにして話し合う	図		片岡ミチ				自社所蔵
60	映画『エイリアン』(1979)の主人公リプリーの台詞の日本語字幕	絵画		たつみなつこ				たつみなつこ／白澤社提供

図版出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
61	中村桃子氏プロフィール	写真						自社所蔵
68	コレセツの広告(フランス、19世紀)	絵画						トーラオトノレバ提供 PAL_217715
70	鷺田清一氏プロフィール	写真						自社所蔵
73	ピエール・ブルデュ	写真						ユニフォトプレス提供 uniH_RDA00052573
75	祝儀袋	写真						Pixta提供37458959_M
79	松村圭一郎氏プロフィール	写真						自社所蔵
82	スピーチをメモする	図						自社作成
87	メロス島	写真						アマナイメージズ提供
88	人柱像	写真						自社所蔵
89	ミロのヴィーナス(ルーブル美術館蔵)	写真						PPS Archives21_4101-021061
90	サモトラケのニケ(ルーヴル美術館蔵)	写真						アマナイメージズ提供
92	清岡卓行氏プロフィール	写真						自社所蔵
95	雪の中の足跡と形跡に示された悲劇	絵画	「シートン全集」第17巻	395		評論社	1951年	
97	綿尾兎	写真						iStock提供1193013730
97	横縞鳩	写真						iStock提供638938558
98	E・シートン プロフィール	写真						自社所蔵
101	『日本経済新聞』2019年9月28日(朝刊)	写真						日本経済新聞提供
101	表1 他の新聞での見出し	図						自社作成
103	日本語教育の推進に関する法律	図						自社作成
105	図1 陸軍兵士の死亡率	図						自社所蔵
105	図2 兵士の死因別死亡率	図						自社所蔵
106	図3 グラフのために使われた基礎資料	図						自社所蔵
109	イギリス地図	地図						自社作成
110	路上生活者の支援施設(イギリス)	写真						アマナイメージズ提供
114	再建中のグレンフェル・タワー	写真						アマナイメージズ提供
116	ブレイディみかこ氏プロフィール	写真						自社所蔵
124	宇野重規氏プロフィール	写真						自社所蔵
127	「主体性」を討論する	図			片岡ミチ			自社所蔵
128	『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』	写真			書影 平田オリザ	講談社	2015年	自社所蔵
128	『議論入門ー負けないための5つの技術』	写真			書影 香西秀信	筑摩書房	2016年	自社所蔵
128	『「からだ」と「ことば」のレッスン』	写真			書影 竹内敏晴	講談社	1990年	自社所蔵
128	『手話の世界を訪ねよう』	写真			書影 亀井信孝	岩波書店	2009年	自社所蔵
128	『僕らの世界を作りかえる哲学の授業』	写真			書影 土屋陽介	青春出版社	2019年	自社所蔵
128	『戦争は女の顔をしていない』	写真			書影 スヴェトラーナ・アレクセーエヴィチ	岩波書店	2016年	自社所蔵

図版出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
128	『東京プリズン』	写真		書影	赤坂真理	河出書房新社	2012年	自社所蔵
131	15世紀に描かれた世界図	写真						PPS通信提供
135	若林幹夫氏プロフィール	写真						自社所蔵
142	野矢茂樹氏プロフィール	写真						自社所蔵
148	岩井克人氏プロフィール	写真						自社所蔵
151(下段)	「AIと人間」を考える	図		片岡ミチ				自社所蔵
152	『はじめての構造主義』(橋爪大三郎)	写真		書影	橋爪大三郎	講談社	1988年	自社所蔵
152	『生物と無生物のあいだ』(福岡伸一)	写真		書影	福岡伸一	講談社	2007年	自社所蔵
152	『哲学入門』(戸田山和久)	写真		書影	戸田山和久	筑摩書房	2014年	自社所蔵
152	『多数決を疑う——う社会的選択理論とは何か』(酒井豊貴)	写真		書影	酒井豊貴	岩波書店	2015年	自社所蔵
152	『たったひとつの「真実」なんてない——メディアは何を伝えているのか?』(森達也)	写真		書影	森達也	筑摩書房	2014年	自社所蔵
152	『ロウソクの科学』(マイケル・ファラデー)	写真		書影	マイケル・ファラデー	岩波書店	2012年	自社所蔵
152	『エコ・ロゴス——存在と食について』(雜賀恵子)	写真		書影	雜賀恵子	人文書院	2008年	自社所蔵
157	番組でインタビューする著者	写真						アマナイメージズ提供
158	国谷裕子氏プロフィール	写真						著者提供
162	「江戸開城談判」図中の西郷隆盛(左)と勝海舟(右)(結城素明)	絵画						聖徳記念会館提供
163	長田弘氏プロフィール	写真						自社所蔵
172	伊藤亜紗氏プロフィール	写真						著者提供
175	インタビュー依頼状	図						自社作成
176	『ビブリオバトル——本を知り人を知る書評ゲーム』(谷口忠大)	写真		書影	谷口忠大	文藝春秋	2013年	自社所蔵
176	『マンガでわかる ビブリオバトルに挑戦!』(谷口忠大・沢音千尋・柏谷亮美)	写真		書影	谷口忠大・沢音千尋・柏谷亮美	さ・え・ら書房	2016年	自社所蔵
182	山田登世子氏プロフィール	写真						自社所蔵
186	法興寺(飛鳥寺)跡から出土した文字瓦	写真						朝日新聞フォトアーカイブ提供
187	元興寺本堂と屋根瓦	写真						ユニフォトプレス提供
188	堀江敏幸氏プロフィール	写真						自社所蔵
191	『雑草はなぜそこに生えているのか』ポップ	写真						自社所蔵
191	『友だち幻想』ポップ	写真						自社所蔵
191	『砂糖の世界史』ポップ	写真						自社所蔵
191	『何のために「学ぶ」のか——中学生からの大学講義』ポップ	写真						自社所蔵
191	『82年生まれ、キム・ジョン』広告	写真						自社作成
192	「打てるものなら、打ってみろ。」	写真						毎日新聞提供
194	お世話になった人への手紙	図						自社作成

図版出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
194	学校行事の案内文	図						自社作成
201	國分功一郎氏プロフィール	写真						自社所蔵
204	サブリミナル・パーセプションの実験	図						自社作成
208	小坂井敏晶氏プロフィール	写真						自社所蔵
211(上段)	推敲表	図						自社作成
212	『レポートの組み立て方』(木下是雄)	写真	書影	木下是雄	筑摩書房	1994年	自社所蔵	
212	『高校生のための文章読本』	写真	書影	梅田卓夫ほか編	筑摩書房	2015年	自社所蔵	
212	『日本語のレトリック——文章表現の技法』	写真	書影	瀬戸賢一	岩波書店	2002年	自社所蔵	
212	『ニッポンの書評』	写真	書影	豊崎由美	光文社	2011年	自社所蔵	
212	『ねにもつタイプ』	写真	書影	岸本佐知子	筑摩書房	2010年	自社所蔵	
212	『忘れられた日本人』	写真	書影	宮本常一	岩波書店	1984年	自社所蔵	
212	『戦中派不戦日記』	写真	書影	山田風太郎	講談社	2002年	自社所蔵	
215	インドネシアのフードコート。(2022年・ジャカルタ)	写真						アプロaflo_185767821
220	岡真理氏プロフィール	写真						自社所蔵
223	投棄ゴミの埋め立てが作った地層	写真						ユニフォトプレス提供 uniH_25.HHXGTP
230	吉川浩満氏プロフィール	写真						自社所蔵
234	ヴァルトゼーミュラーによる世界地図	写真						アプロ提供153369625
234	アメリゴ・ヴェスپッチ	写真						自社所蔵
236	ハイチ島に上陸するコロンブス	写真						PPS通信提供
239	西谷修氏プロフィール	写真						自社所蔵

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
 - ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次欄に巻号、発行年月日等を示す。
 - ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認する可能な情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
 - (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることを注意すること(別途契約を締結する場合

備考4の内容について確認しました。

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
10~14	境目	国語教材	(82ページ13~14行目)空が、高い。じきに、冬が来る。この原稿を書き終わったら、走って一分の市の境目まで行ってみて、境目を踏み越えてみようと思っている。	削除	分量の調整
16~22	サイエンスの視点、アートの視点	国語教材	<p>①(10ページ4行目)(現代美術)</p> <p>②(12ページ14行目)(靈長類学)</p> <p>③(12ページ14行目)(生態学)</p> <p>④(13ページ9~14ページ11行目)最後の自由研究で、一本のアコウの木を選んだ。大きなアコウには実がたわわになっていて、たくさんの生き物がやってくるに違いない。そう期待して、半日ほど定点観察することにした。 双眼鏡をかまえ、少し離れた斜面に陣取る。ひたすら待つこと一時間、やってきたのは二〇頭ほどのサルの群れだった。たらふく食べたサルの群れは、食後のグルーミングをしたのち、クークーと声をかけあいながら去っていった。 とたんに、しんとした時間が訪れた。一本と一人。アコウの上を過ぎていく雲の流れを見つめる。風が抜けるたび、しゃらしゃらと照葉樹の乾いた音が鳴る。しばらくして、ふと生暖かい匂いを感じた。そつとふりかえると、一頭の若いオスザルがうしろに座っていた。群れから離れて行動しているヒトリザルだろう。その気配を背中で感じながら、しばらく空間を共有して過ごした。なんだかうれしくて、こころがじんわり温かくなった。 その後「ヤクザル調査隊」というヤクシマザルの調査のお手伝いにも参加して、さらに一週間、屋久島の森のなかでテントを張って過ごした。その一週間後には、靈長類研究所の松沢哲郎先生のオランウータン調査に同行させてもらい、マレーシアのボルネオ島に一〇日間ほど滞在した。はじめてにして、贅沢なフィールドワーク漬けの夏。それが、わたしの一つの原点となった。</p> <p>⑤(14ページ15行目)(媒体)</p>	<p>①~③削除</p> <p>④削除</p> <p>⑤削除</p>	<p>①~③学習上の配慮</p> <p>④分量の調整</p> <p>⑤学習上の配慮</p>
26~28	一般化のワナ	国語教材	<p>①(59ページ13行目)これまで僕は、</p> <p>②(59ページ13行目)繰り返しいってた。</p> <p>②(60ページ4~5行目)その具体的な方法については、本書の後半でじっくりお話しすることにしたいと思う。 今回</p>	①~③削除	①~③前後の文脈をつなげるための学習上の配慮

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
30～35	ことばとは何か	国語教材	①(60ページ13～14行目)(ほかにもソシュールはいろいろなことを指摘したのですが、いちばんだいじになつだけにしておきます。)		
			②(62ページ12行～63ページ10行目)その箇所を引用しておきましょう。	①②削除	①②分量の調整
			「フランス語の『羊』(mouton)は英語の『羊』(sheep)と語義はだいたい同じである。しかしこの語の持っている意味の幅は違う。理由の一つは、調理して食卓に供された羊肉のことを英語では『羊肉』(mutton)と言ってsheepとは言わないからである。sheepとmoutonは意味の幅が違う。それはsheepにはmoutonという第二の項が隣接しているが、moutonにはそれがない、ということに由来する。(略)もし語というものがあらかじめ与えられた概念を表象するものであるならば、ある国語に存在する単語は、別の国語のうちに、それとまったく意味を同じくする対応物を見い出すはずである。しかし現実はそうではない。(略)あらゆる場合において、私たちが見出すのは、概念はあらかじめ与えられているのではなく、語のもつ意味の厚みは言語システムごとに違うという事実である。(略)概念は示差的である。つまり概念はそれが実定的に含む内容によってではなく、システム内の他の項との関係によって欠性的に定義されるのである。より厳密に言えば、ある概念の特性とは、『他の概念ではない』ということに他ならないのである。」(『一般言語学講義』。ちなみに本書ではフランス語と英語については、原著が手に入ったものは私が訳文を書いています。)		
			③(64ページ11行～65ページ5行目)高島俊男は同じことが漢語と日本語のあいだでも起こっていると指摘しています。	③削除	③分量の調整
			「われわれはいま『お天気』ということばをよく日常にもちいているが、この『天気』という語も本来の日本語ではない。これも、概括的、抽象的なことばなのである。同様に『春』『夏』『秋』『冬』はある。しかしそれらを抽象した『季節』はない。いや、あるいは目にみえる『そら』はある。しかし万物を主宰し、運行せしめ、個人と集団の命運をさだめる抽象的な『天』はない。いや、この『天』ともなると、單に抽象的といつにとどまらず、この概念を生んだ種族の思想——すなわちものの考え方、世界と人間のとらえかた——を濃厚にふくんでいる。		
			概念があるからことばがある。逆に言えば、ことばがないということは概念がないということである。」(『漢字と日本人』)		
			④(66ページ1行目)「そら」と「天」や、	④削除	④前後の文脈をつなげるための学習上の配慮

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
37~41	デジタル社会		<p>①(87ページ11行目)フロッピー・ディスク</p> <p>②(88ページ2行目)コミュニケーション形態の大変動</p> <p>③(89ページ1行~91ページ15行目)個人の自由という発想自体が変容する 個人、インディビジュアルという発想は、ルネサンス時代の個人の自立や、デカルト以来の自我論などを経て成立していく歴史的産物にすぎない、と考えることもできる。ということは、今後の流れによっては個人という発想自体が消滅する、ということもありうる。 今後、コンピュータの世界は、人間社会のきわめて根本的なところを変えていくであろう。つまり、ここ二百年くらいで獲得した個人の自由、あるいはプライバシーなどといった発想自体がおそらく変容すると思われる。その流れの中では、個人がユビキタスのツールを使って、生活がもっと充実するのかという問い合わせが不自然である。そのときには、人間のあり方すら変容しているのだから。 ポスト・モダンの時代がくれば、人間はもっと自由になる、というわれることもあるが、この言説の不自然さも同様である。自由というのは、もともとモダンの中の概念なのであり、ポスト・モダンになれば、自由という発想自体が消えている可能性がある。前コンピュータ時代に培った発想が、これからコンピュータ時代にも適合するとは思えない。</p> <p>この点を考える好例は、現在取り沙汰されている著作権法の問題である。著作権というのは、西欧で一七〇〇年ごろに成立したものであり、本来は書物の時代の版元を保護する法律として制定されたものである。 だから、最近に出現したインターネットや今後のユビキタスの時代に、著作権をどう守るかという発想自体が浮かんでいる。まずは、インターネットやユビキタス時代における著作権とはそもそもいついかがな何なのかという問い合わせでなければならない。それなのに、前提として著作権があり、それを動かさず、しかも、うまく守つていこうね、という発想が根本にあるために、その問い合わせは的はずれなものとなってしまうのである。</p> <p>プライベートとパブリックの境が消滅 従来のメディアでは、個人が公に対して発言するには、その機会獲得などのさまざまな困難や、編集者などによる校閲が伴っていた。良くも悪くも、この距離こそ、思いを思考に、一面的な思念を客観的な意見へと練り上げるものである。 しかし、インターネットにおいては、気楽に書き連ねた文章を、自分のコンピュータに保存することと、ネット上に公開することの差は、二、三のキー操作の差にすぎない。従来のいかなるメディアとも異なり、インターネットでは、〈発想〉と〈発表〉との間の落差がほとんど存在しない。あるいは、〈自我境界〉があいまい化、拡大化し、自己と世界が、いわば〈短絡〉してしまうのである。ここでは、プライベートとパブリックの境が溶け落ちる。さまざまな情報とともに、何億もの個人のとりとめもない思いや理解や誤解がネット上にあふれる。これらは呼び出されなければ、無言のままにとどまっているが、ひとたび検索の網にかかるれば、強大な力を發揮することになる。</p> <p>だから、インターネットにおける著者と読者(情報発信者と受信者)の問題は、目下のところ、従来とはまったく異なる様相を呈している。</p> <p>一方では、これまで泣き寝入りせざるを得なかつた者が、発言手段を得て、不正を告発することができる。他方では、十分な論拠も証拠もないまま、一方的意見をホームページに掲載したり、匿名性を利用した個人の誹謗中傷がまかり通ったりしている。一人の勇気ある発言が不正をただすこともあれば、その発言が、個人やコミュニティや企業を崩壊させることもある。ともかく、これまで一般の個人が持っていた、ビラやミニコミ、投書欄への投稿などという発言手段に比較して、インターネットの持つ力は圧倒的となっているのである。</p> <p>④(92ページ2行目)すべての情報が蓄積される監視社会</p>	<p>①削除</p> <p>②削除</p> <p>③削除</p> <p>④削除</p>	<p>①学習上の配慮</p> <p>②手引きの問い合わせ設定のための削除</p> <p>③分量の調整</p> <p>④手引きの問い合わせ設定のための削除</p>
	国語教材				

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
43～48	システムと変異	国語教材	⑤(92ページ6行～11行目)たとえば、BSデジタルTVを購入する。契約しないと映らない有料チャンネルに、視聴のため電話をかける。TVに附属してきたB-CASカード二十枚程度の番号を伝えて数分も待つと、突然そのチャンネルが映るようになる。地球を回る衛星から、数限りない大量のTVのうちで、我が家のTVが個別的にピンポイントで操作されたのだろうか。 あるいは	⑤削除	⑤学習上の配慮
			⑥(92ページ10行～93ページ4行目) デジタル放送のB-CASは、暗号技術を利用して、各受信機に固有の暗号かぎを使つて、個人宛にメッセージを送ったり、限定受信を可能にするものだ。すべてのB-CASカードのID番号は、基本台帳で一元的に管理される。	⑥削除	⑥学習上の配慮
			⑦(94ページ4行目)第一章でも触れたが、	⑦削除	⑦前後の文脈をつなげるための学習上の配慮
63～70	身体、この遠きもの	国語教材	①(138ページ6行目)ランダムに起こる遺伝子の変異	①②削除	①②学習上の配慮
			②(140ページ4行目)放射線に耐える奇妙な果実		
			①(101ページ7行目～9行目)(ついでに言えば、「身の上」「身の者」「身勝手」「身分」「立身出世」などというように、日本語の「身」は人間関係という社会的な地平で思い浮かべられることが多い。)	①②削除	①②学習上の配慮
			②(103ページ2～6行目)このことを、『存在と所有』の著者G・マルセルは次のような逆説としてとらえる。つまり、「わたしが事物を意のままにすることを可能してくれるその当のものが、現実にはわたしの意のままにならない」という逆説のなかに、かれは「不随意性[意のままにならないこと]」ということの形而上学的な神秘を見てとるのである。	③(194ページ13行目と14行目の間に1行アキを挿入して)身体は皮膚に包まれているこの肉の塊のことだ、と、	③学習上の配慮
			③(103ページ17行目)身体は皮膚に包まれているこの肉の塊のことだ、と、		
			④(105ページ8行目)物質の塊としての身体、	④(196ページ10行目と11行目の間に2行アキを挿入して)物質の塊としての身体、	④学習上の配慮

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
72~79	贈り物と商品の違い		<p>①(28ページ8行目)マクドナルド</p> <p>②(29ページ4~15行目)この区別は、人と人との関係を意味づける役割を果たしている。 たとえば、「家族」という領域は、まさに「非経済／贈与」の関係として維持されている。家族のあいだのモノのやりとりは、店員と客との経済的な「交換」とはまったく異なる。誰もがそう信じている。 レジでお金を払ったあと、店員から商品を受けとって、泣いて喜ぶ人などいない。でも日ごろの感謝の気持ちを込めて、夫や子どもから不意にプリセットを渡された女性が感激の涙を詫すことは、なにもおかしくない。 このとき女性の家事や育児を経済的な「労働」とみなすことも、贈られたプレゼントをその労働への「対価」とみなすことも避けられない。そうみると、レジでのモノのやりとりと変わらなくなってしまう。 母親が子どもに料理をつくりたり、子どもが母の日に花を贈ったりする行為は、子どもへの愛情や親への感謝といった思いにあふれた営みとされる。母親の料理に子ども</p>	<p>①(76ページ6行目)ハンバーガーショップ</p> <p>②削除</p>	<p>①特定の商標名を出さない配慮</p> <p>②分量の調整</p>
	国語教材		<p>③(58ページ4行目)前に書いたように、</p> <p>④(58ページ5行目)「経済」の章での言い方を繰り返せば、</p> <p>⑤(59ページ9~12行目) 哲学者のメルロー=ポンティは言う。 「他人の身体を知覚するのは、まさに私の身体であり、これはそこに、いわば自分自身の諸志向の奇跡的な延長を、つまり世界を取り扱うなじみ深い仕方を見いだすのである」(『知覚の現象学』法政大学出版局、五七八頁)</p> <p>⑥(60ページ4~13行目)飼い犬の感情を読みとれる人もいるかもしれないが、人間以外の動物は極端に表情に乏しい。 「笑う犬」という表現に「おかしさ」があるのは、ふつう犬が人間のように顔全体の筋肉を使って「笑い」を表現できないからだ。それはまさに「身体的」に制約されている。 靈長類学者の山極壽一さんによると、ゴリラなど人間に近い靈長類でも、ほとんど白目がない。これは相手に感情を読みとれないようにするためだ。人間は進化の過程で、あえて白目の部分を大きくし、瞳の動きを相手にさらすことを選んだ。そして互いに感情を示しあい、共感が生じる可能性を身体的に保証することで、社会的な存在となってきた。</p>	<p>③④削除</p> <p>⑤削除</p> <p>⑥削除</p>	<p>③④前後の文脈をつなげるための学習上の配慮</p> <p>⑤学習上の配慮</p> <p>⑥分量の調整</p>

加除訂正表

申請図書		原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由	
ページ	名称	種別			
86～92	わかっていること いないこと	国語教材	①(135ページ12行目)日本における寒波の長期変動	①削除	①学習上の配慮
			②(135ページ13行目)1981～2010年の	②(87ページ12行目)一 八九八～二〇一四年	②誤記
			③(137ページ6行目)温暖化すると寒波が増える？	③削除	③学習上の配慮
			④(138ページ1行目)先述した	④削除	④前後の文脈 をつなげるため の学習上の配慮
			⑤(139ページ6行目)予測を裏切る温暖化の影響に備える	⑤削除	⑤学習上の配慮
			⑥(139ページ7行目)「なぜ日本の冬は寒くなるのか」という疑問に対して	⑥削除	⑥前後の文脈 をつなげるため の学習上の配慮
104～106	ナイチンゲール が作成した統計 図表	国語教材	①(83ページ2行目)代表的なものを、順次、紹介していきましょう。	①②削除	①②学習上の 配慮
			②(84ページ4行目)二つ目の		
106～114	誰かの靴を履いてみること	国語教材	①(76ページ9行目)元底辺中学校	①(106ページ上9行目) 中学校	①学習上の配慮
			②(76ページ13行目)底辺託児所	②(106ページ下2行目) 託児所	②学習上の配慮
			③(82ページ17～18行目)「ファッキン」「バスター」「ワンカー」といった卑語が断続的に響き、	③削除	③学習上の配慮
116～122	〈私〉時代のデモ クラシー	国語教材	①(4ページ2～4行目)就活に励む若者のためのセミナーのタイトルを見ても、「自分らしさを探そう」や「自分らしさを活かして、内定を勝ち取ろう」など、「自分らしさ」ばかりが目につきます。	①②削除	①②学習上の 配慮
			②(7ページ10行目)関連して、「成熟社会」という言葉もよく耳にするようになりました。		
			③(8ページ10～11行目) 先ほど、「およそ現代社会の特徴をとらえるために、〈私〉という視点が欠かせない」といいましたが、	③削除	③前後の文脈 をつなげる学習 上の配慮

加除訂正表

申請図書		原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別		
101～106	魔術化する科学 技術	<p>①(109ページ11行目)科学は宗教より“無知”である</p> <p>②(111ページ7～8行目)透明さと不気味さと</p> <p>③(112ページ8行目)前の章で見た</p> <p>④(112ページ15行～118ページ2行目)明晰な合理性と不気味さはどちらも、今日にいたってなお、道具や機械や技術の本質なのだ。</p> <p>さまざまな合理性 ところで、科学的であることと合理的であることとは、いつも一致するわけではない。 科学的であるとは、世界に対する知識や探求、働きかけが、科学を特徴づける実証性や反証可能性にもとづくようになるということだ。これに対して合理的であることは、必ずしも科学的である必要はない。現代に日本語では「合理的」という言葉や「合理化」という言葉は、「効率的」や「効率化」という言葉とほぼ同じ意味で使われることが多い。だが「合理的」という言葉には、もっと広範かつ複雑なニュアンスがある。 合理的であるとは、文字どおりには「理に合っていること」ということだ。だが、「理」と言ってもいろいろある。与えられた目的に対して最小のコストで最大の効果を上げることが理にかなっていると考える人もいれば、たとえ効率は悪くても道徳的な正しさや倫理性といった価値観に即した行為や状態を選択することが理にかなっていると考える人もいる。 たとえばスポーツの試合で、対戦相手がどこかを怪我しているとしよう。競技に際しての目標は勝利することだ。そして、より確実に勝利するためには、競技のルールに違反しないかぎりで相手の負傷を利用し、ときにそれを痛めつけるような攻撃を仕掛けすることが理にかなっていよう。だがしかし、そのように相手の弱みを利用することはルール違反でなくともフェアではないと考えるならば、それは理にかなってはいないという判断もありうる。この場合には、相手の弱みを攻めないこと、ときにはそれによって自ら敗北してしまうことが、合理的であるということになる。</p> <p>また、いわゆる「お役所仕事」では、仕事の効率性よりも所定の手続きを踏み、前例を踏まえ、役所の縦割り区分が守られていることが重視される。目標を達成するための効率的な手段という視点からすればまったく理にかなっていないこうした「官僚体質」も、所定の手続きを踏み、あらゆる事案を例外なく平等に、失敗なく処理するという官僚制の「理」に即してみれば合理的だと見なしうる。 このように、ある行為や状態が合理的であるかどうかは、どのような「理」を規準とするかで違ってくる。合理的な行為や状態とは、ある「理」の規準に関して適切な行為や状態が選ばれていることが、行為者にもそれを観察する人びとにも納得できるということなのだ。 社会科学の“巨匠”的一人、マックス・ウェーバーは、与えられた目的の達成に対して最も適合的と思われる手段を選択するという規準にもとづく行為を「目的合理的行為」、ある価値観や美意識に即して最も妥当な行為を選択するという規準にもとづく行為を「価値合理的行為」と呼んだ。また、官僚制のように形式的な整合性と計算可能性を追求するような「理」のあり方を「形式合理性」と呼んで、行為の内実が一定の規準に即して価値があつたり、目的に応じていたりすることを重視する「実質合理性」から区別している。</p>	<p>①削除</p> <p>②7行目の1行アキを詰めて、8行目を削除</p> <p>③削除</p>	<p>①分量の調整</p> <p>②分量の調整</p> <p>③前後の文脈をつなげるための学習上の配慮</p>

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
	国語教材		<p>重要なことは、いずれの「合理性」にしても、自分一人で「理にかなっている」というだけでは「合理的」とは言えないということである。合理性とは、ある行為や状態の当事者にとって「理にかなっている」と思われるだけでなく、その当事者ではない人、行為や状態を評価する他の規準をもった人びとにも、ある規準を採用した場合には「理にかなっている」と判断できるような、行為や状況の選択なのだ。価値合理的行為は、目的合理的行為に「理」を見る人からすればまったく合理的ではないにもかかわらず、その価値観に即せば「理にかなったもの」と見なすことができる。また、実質合理性の立場に立つ人から見れば官僚制の形式主義は合理的ではないが、形式的な整合性と計算可能性を重視するという立場を仮にとってみれば、その合理性を理解することは不可能ではない。合理性とはこのように、ある「理」の規準に即して、当事者以外の他者たちから見ても「理にかなっている」ということなのである(それに対して心理学で言う「合理化」は、傍目には合理的ではないような行為や状況の選択を自分自身で納得させるために行なわれる。とれなかったぶどうの実を、「あのぶどうは酸っぱいや」と言ったイソップ物語の狐のような心理である)。</p> <p>理解できないことを信じる 現代の社会で「合理的」とか「合理化」と呼ばれているのは、主として科学的な知識やその応用である科学技術によって、ある目的に対する最も効率的な手段や方法を選択するような「合理性」とその追求である。現代の技術文明は、こうしたさまざまな合理性の中で、科学的な知識にもとづく合理性を追求し、それを社会の中で応用することによって発展してきた。 企業の経営、職場の管理、商品の開発などでも、科学的な合理性と効率の追求は最も大きな規準のひとつである。新しい科学技術を応用した商品は性能を向上させ、最新の技術や知識を利用した生産体制や業務システムは効率を高め、コストの削減を可能にし、利潤の増大をもたらすのだ。 日常の暮らしの中にも、科学化と合理化はさまざまな形で入り込んでいる。さまざまな電気製品やガス製品は、炊事、洗濯、掃除などの家の「合理化」を進めてきた。住宅の間取りやキッチンのレイアウト、家庭電気製品や家事用品のデザインでは、最新の人間工学が応用され、無駄なく機能的な生活が設計される。どこかに行きたいと思えば、インターネットの路線検索などで、最も速いルートや最も安価なルートを調べ、そこから最も合理的な経路を選ぶこともできる(そうして選ばれ、利用される鉄道や航空機などの交通機関が高度な科学技術の結晶であることは言うまでもない)。最新の研究にもとづく効率的なダイエットや、科学的に実証された健康法もある。最新の研究にもとづくスポーツ飲料やうまさを科学的に追求した製法のビールを飲み、バイオテクノロジーを駆使して作られた食品を口にする。インターネットを駆使してさまざまな情報を仕入れ、最新の金融理論にもとづく投資商品で資産運用することもできる。そもそも、こうした生活を可能にするエネルギーの供給、上下水道のシステム、金融の制度等々はみな、さまざまな科学技術が可能にしたエネルギーと情報の制御とネットワークの上に成り立っている。それが私たちの科学的で、合理的な生活である</p>	④削除	④分量の調整

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
			<p>だがしかし、前の章でも触れたように、こうした科学化され、合理化された生活を営む人々は、いわゆる「専門家」も含めて、特定領域の科学的成果を自らの手で検討したり、判断したりすることなどできない。もちろん私たちは、算数、数学、理科などの学習を通じて世界に対する科学的な理解の基礎を学んだことになっており、高度な科学技術もこうした基礎の延長線上にあるらしいということを知っているけれども、では具体的にそれらがどのような延長線の上にあるのかを説明することはできないだろう。この机の上のパソコンが、台所のあの電子レンジが、なぜ、どのようにして動くのかを私は知らないが、それらを使えばある目的を容易に達成できるということは知っている。科学技術の高度化によって社会の合理性を高めるためには、その研究と応用を特定の専門家や機関にゆだねることが、それゆえ人々の人びとはこうした専門化した科学や技術を理解できないことを甘受するのが、合理的なのだ。</p> <p>このとき、私たちは「科学」とその「合理性」を自らの判断において信じているのではない。私たちは、特定の分野を担当する専門家集団や、彼らが設計・運営する技術やシステムの科学性と合理性を、理解はしていないけれども信じているのだ。科学技術文明を生きる人々の人びとにとっての合理性とは、こうした専門家集団や彼らの設計・運営する技術やシステムを信頼することが理にかなっているという合理性である。科学技術という知のシステムや、それが可能にしたエネルギーや情報を制御し、利用するシステムの合理性への信頼を合理的と考えるという意味で、こうした合理性を「システム合理性」と言うこともできるだろう。</p> <p>魔術化する科学技術 けれども、</p>		
135～140	未来は存在しない	国語教材	(305ページ6～7行目)このことを認めると、存在論的な、あるいは意味論的な問題が次々に発生してくる。これは、ちょっとおもしろいぞ、などと最近つくづく考えているのである。	削除	学習上の配慮

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
194～199	来るべき民主主義	国語教材	<p>①(117ページ5行目) 「多と一を結びつける困難な営み」</p> <p>②(114ページ12行目) 「多数性こそが政治の条件」</p>	①②削除	①②学習上の配慮
201～206	主体という物語	国語教材	<p>(17ページ3～12行目)一〇〇〇分の何秒という非常に短い時間だけ文字や絵を見せると、被験者は何を見たのかわからないだけでなく、何かを見たという意識さえ抱かない。三人(そのうち二人はサクラAとB)に参加してもらい、非常に短い時間だけ詩を見せるから、詩の作者が男性であるか女性であるかを当ててほしいと依頼する。しかし実際には詩ではなく、サクラ二人のうちどちらか一人(例えばA)の写真を見せる。その後で「見せられた詩」(実際にはサクラAの写真しか見ていない)の作者の性別について討論させる。サクラA詩人が男性に違いないと主張し、サクラBは女性だと答える。タキストスコープ(瞬間露出器)による短時間(一〇〇〇分の四秒)の提示なので、何かを見たという意識さえ生じない。それでも無意識的情報が人間の判断を左右し、サクラAの意見に被験者は影響を受ける。つまり詩だと偽ってサクラAの写真を見せると、Aの言う通り、詩人は男性だと判断する傾向がある(サクラAとサクラBを入れ替えても、詩人の性別を男性と女性を入れ替えても結果は同じ。)</p> <p>もう一つ例を挙げよう。</p>	削除	分量の調整
212～218	開かれた文化		<p>①(76ページ下段12行目～77ページ上段1行目)(日本社会にも多くの日本人ムスリム(イスラーム教徒)や外国人ムスリムが生活しているが、総人口に占める割合は小さい)。</p>	①削除	①分量の調整

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由	
ページ	名称	種別				
			<p>②(77ページ下段3行～79ページ下段19行目) 2 「文化相対主義」——この世界には多種多様な価値観がある。われわれにはわれわれの社会固有の価値観がある。それは、お前たちの社会のそれとはずいぶんと異質で、お前たちには理解しがたいものであるかも知れないが、しかし、「文化」とはそもそもそのようなものなのだ。お前たちの価値観を尺度に、それを「間違っている」とか「遅れている」と一言することはできない。われわれとお前たちは異なる。それは文化が違うからだ。その事実を受け入れろ。お前たちはお前たちの価値観で生きればいい。だから、われわれがわれわれの価値観で生きることに口を出すな、という主張。</p> <p>文化相対主義とは現在一般に、このようなものとして理解され、また、現に主張されているように思う。「文化」というものをこのように解釈するかぎり、他文化というものがその異質性において理解されるのは半ば論理的必然でもあるだろう。経済のグローバリゼーションの進展に伴い、「文化」が惑星規模で均質化、一元化されていくと平行して、多文化主義あるいはネイティヴィズムに基づく文化の地方主義の主張もまたかまびすしい。このとき「文化相対主義」とは、この多文化主義時代における人類の価値観のグローバル・スタンダードということになる。だが、文化の異質性を本質化するこのような「文化相対主義」、このような多文化主義は、グローバリゼーション(それは合州国(政治的、軍事的、経済的、文化的)の地球的規模の拡大と同義である)の対抗言説ではなく、むしろそれを補完するものにはかならないと私は考える。したがって、そうではないようなものとして、私たちはいま、「文化」なるものを構想する必要があると思う。</p> <p>インドネシアの人々が豚の酵素使用に対して示した反応、私たちの目から見れば「過剰な」、それゆえ私たちとは「異質な」(もしかしたら「狂信的」とも言える)反応、それはたしかに文化の違いによるものでは、ある。しかし、たとえば私たちの社会で、人気のレストランで客に知られぬまま、料理に猫の肉が使われていたり、ミミズの肉が使われていたりしたことが分かったとしたら、どうだろうか？ 私たちは大騒ぎしないだろうか？ 騙されたとは思わないだろうか？ それは大きな社会問題にならないだろうか？ 騙されたと思った者たちが集団で抗議したり、レストランの責任者を訴えたりはしないだろうか？ そして、「被害者」がそのような挙に出たとき、私たちは果たして彼らを、「自分とはぜんぜん違う」異質な者たちであると見なすだろうか。</p> <p>私が当事者だったらどうするだろう。世界には猫の肉を食べる文化もあるのだから、と説明されても、あるいは、ミミズを飼料としている動物を私たちは現に食べているのだから、と説明されても、たぶん私には納得できないだろう。それはきわめて感覚的なものだ。猫の肉だと知るまでは、お前だってあんなに旨そうに食っていたじゃないか、猫の肉の何が問題なんだ、と言われたとしても、とにかく猫はいやだ、私は食いたくない、としか言いようがない。</p> <p>猫の肉を客に供していたことが日本で社会問題化し、関係者が事情聴取されたり、法律違反で逮捕されたことをもし、猫の肉を食する文化の者が知ったら、日本には猫の肉を食べてはいけないという捉があり、日本人はその捉に従って生きていると解釈するかもしれない。</p> <p>そのような「捉」はこの社会にあるのだろうか？ まさか！ と多くの者が即座に否定するだろう。日本では猫を食わないのだ、だから、われわれは猫を食いたくないんだ、「捉」なんかじゃない、と。だが、どうして日本では、猫を食わないのだろう？ どうしてわれわれは、猫を食うべきではないと考えるのだろう？ 猫を食つてはならない、と明文化された法律が存在するわけではない。食つたからと言って、罰せられるわけでもないだろう。しかし、それにもかかわらず、私たちは猫を食べない。日本にいるかぎり、飢餓に直面するとか、(あまりありそうにない事態だけれども)食わないと殺すぞと脅かされたりとか、そういうたよほどの場合でもないかぎり、自分が猫を食う姿など想像できない。</p>		<p>②削除</p>	②分量の調整

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
	国語教材		<p>私たちの行動を制約したり、規定しているもの、それをもし「掟」と言うのなら、日本人が猫を食べないというのは、部族の掟と言つてよいだろう。でも、私たちはそれを「掟」とは呼ばない。呼ぶとしたらいぜいが「慣習」といったところだろうか。他方、イスラームの人々が豚を食べないことについては、平気で「掟」などと呼ぶのに(以前、モロッコを舞台に制作されたクイズ番組を見ていたときのこと、モロッコの女性たちはイスラームの「掟」に従い体毛を剃らなければならないというナレーションを聴いて、思わずのけぞってしまったことがある。私の知るかぎり、そんな「掟」は存在しない。たしかに多くの女性たちが腕や脚のむだ毛を処理している。それを「掟」と呼ぶならば、その「掟」はこの日本にだって存在するだろう。いや、日本では、若い男性たちまでも脚のすね毛を処理しているのだから、日本の「掟」の方がはるかに「厳格」だということになる)。</p> <p>ヒトは雑食性のはずなのに、人が食について保守的なのは不思議なことだ。豚肉を食する事が宗教的に禁じられているイスラームの国々では、当然のことながら豚を食する社会的習慣がない。つまり、基本的に売っていない、ということだ。さらに、豚は不浄なものだと考えられている。そして、常日頃食する習慣がないもの、不浄とされるものに対して人間は、どこの社会の者であろうと強い心理的抵抗を感じるものなのだ。日本人が猫や鼠やゴキブリを食することに強い抵抗を感じるように。それでも肉を直接食するのと、化学反応を引き起こす触媒として豚の酵素を用いるのはぜんぜん違う話ではないかと思う人もいるかもしれない。でも、たとえば私は、さつきまでミズが載っていた皿を、洗剤できれいに洗ったからと言われても、それで食事をする気にはならないだろう。そんなに気になるなら、熱湯消毒するからと言われても、断固、違う皿を要求し、要求が認められなければ食事それ自体を拒否すると思う。あるいは、清潔な環境で化学飼料で養殖されたゴキブリだと説明されても、絶対に食べないだろう。淨・不淨にまつわる人間の心理はそもそも合理性を越えたものである。</p> <p>もちろん、インドネシアの人々が豚を食べないのは、そして、豚の酵素が使われていたことに対して強い拒否反応を起こすのは、イスラームという宗教が豚肉を食するのを禁忌と/orしているからであり、そのかぎりでは、人々の反応はイスラームの文化によって規定されたものではあると言える。しかし、その文化において食す習慣がないもの、不浄と考えられているものに対する人間の反応として、私に言わせれば、彼らの反応はごく自然な、当たり前の、日本人だって場合によってはそのように振る舞うであろう、実に「人間らしい」反応である。</p> <p>3</p> <p>(80ページ上段11行～18行目)エジプト人の女性と上野公園に遊びに行ったとき、群集う鳩を見た彼女は「美味しそう」と言った。彼女の反応は、鳩料理を郷土料理とするエジプトの文化によって規定されたものだ。それは私たちの反応とは違う。鳩を食する習慣のない日本では、私たちは鳩を見て「可愛い」とは言っても「美味しそう」とは言わないだろう。だから、それは「文化の違い」だ。他方、日本人はと言えば、水族館で泳いでいる活きのいい鯉や平目の姿を見て、無性に刺身が食いたくなるのは私だけだろうか。</p> <p>(80ページ下段7行～10行目)(アラブ世界で四年間暮らした私は、目の前で屠殺され、解体されてゆく羊を見て、可哀そうと思うどころか、その肉の新鮮さに思いを馳せて思わず舌なめずりしてしまう。)</p>		

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
			<p>(80ページ下段21行～82ページ下段21行目) 4</p> <p>モロッコの社会学者ファーティマ・メルニーシーがどこかでこんなことを書いていた。西洋社会の人間はアラブ社会は宗教的だと言うが、自分がアメリカで暮らしてみて驚いたのは、アメリカ社会の日常が、キリスト教の宗教的含意によって満たされていたということだ。それを日常として生きている者にはごく当たり前のことであって、ことさらに宗教的であるとは感じないかもしれないが、他文化の者にとっては、アメリカはその日常の細部までキリスト教の含意に満ち満ちた実に宗教的な社会に映ったという。同じことはこの日本社会についても言えるかもしれない。日本人は宗教心が希薄だと、日本人自身が言うのをよく聞く。たいていの場合、「それに較べてイスラームの人々は宗教熱心で、私たちとはぜんぜん違う」という言葉があとに続くのだが、でも、そうした日本人自身の意識とは正反対に、日本社会を体験したイスラーム教徒が強調するのは、日本社会がいかに宗教的であるか、ということだ。何十万という人々が神社に初詣に出かけ、柏手を打ったり、何事か祈願して絵馬を奉納したり、おみくじを引いたり、七五三で神社にお参りに出かけたり、仏壇に朝晩供えのをしたり、お盆に坊さんを呼んで法事をしたり……私たちにとってそれは、とりたてて宗教的な行為というわけではなく、親がやってきたから自分も何となく繰り返している日常の一こま、あるいは年中行事のひとつに過ぎないとしても、それはたしかに宗教的な意味に浸潤されている行為なのだ。そして私たちは、それを当たり前の日常として生きているがゆえに、その宗教性は空気のように自然化されてしまっており、ことさらに宗教的な行為とは感じなくなってしまっているだけなのかもしれない。</p> <p>だから、イスラームの社会において私たちの目から見れば、非常に宗教的な振る舞いと見えるものであっても、本人たちはそれをたんに慣れ親しんだ日常の一部として行っている場合もたくさんあるだろう。ムスリム女性の被るスカーフなど、その良い例かもしれない。</p> <p>私たちにとって、イスラーム社会における女性のスカーフ姿は、「イスラーム女性」のシンボルとなっていると言つても過言ではない。私たちにとってスカーフはお洒落のためのアイテムであり、それ以外の理由ではスカーフを被らない。でも、彼女たちはみな、宗教ゆえにスカーフを被る。私たちと彼女たちとの間のこの違い。目に見える違い。「文化の違い」。「なぜ、スカーフを被るのですか?」と彼女たちに訊ねればきっと、訊ねられた誰もが、イスラームの教えに従つて、と答えるに違いない。中には、コーランやハディース(預言者の言行録)から、信徒のたしなみについて述べた章句や言葉を引用する者もいるだろう。イスラームの教えに従つてスカーフを被る女性たち。私たちはそんなことしない。私たちとは違う彼女たち。個人の服装まで律する厳格な教え。それに従う厳格な女性たち。自由な私たちはまるで異質な存在……。</p> <p>たしかに、ムスリム女性のスカーフには宗教的な根拠がある。しかし、だからといって、すべての女性が熱烈な宗教心の証としてスカーフを被っているわけではないこともまた、たしかだ。都市部と違い地方部では女性がスカーフを被るのが、いまでもまだ当たり前だ。母も祖母も姉も、自分のまわりのすべての女性たちがスカーフを被っている。だから自分も被る。それは女性たちにとってまず、宗教的行為というよりも地域に根ざした生活習慣としてある。私たちにも、とくにその由来を考えることなく、永年の生活習慣として行っている多くの行為があるのではないだろうか。</p>		

加除訂正表

申請図書			原文(ページ数・行数は原文のもの)	加除訂正文(ページ数・行数は申請図書のもの)	理由
ページ	名称	種別			
			<p>「イスラーム」という「文化」の違いは、女性たちが被るスカーフという実に目に見えやすい形で現象している。その、目に見える違い、つまり「文化の違い」ということがにわかに、現代においてなお人々が厳格に宗教的に生きているイスラーム社会、特殊な社会というイメージを生み出す。「文化の違い」はたしかに、スカーフの有無という可視化される差異として現象しているけれども、たとえば毎年の生活習慣としてそれが行われているという点に注目すれば、私たちの社会もまた、現れ方は異なるけれども、同じような態度が見られることに気がつくだろう。</p> <p>つまり、私たちと彼らは、実はそんなに違わない、ということだ。少なくとも、同じ人間として理解できないほど違う、というわけでは決してない。そして、このとき「文化の違い」とは、私たちには一見すると、私たちとの異質性を物語るような具体的な違い、「私たち」と「彼ら」のあいだの可視化された差異について、それが同じ人間としてじゅうぶん理解可能であることを示してくれるものなのだ。</p> <p>5 「文化の違い」をこのようなものとして考えるならば、</p>		
222～230	人新世における人間	国語教材	<p>①(165ページ6行目)本稿では、この「人新世」の概要と意義について述べてみたい。</p> <p>②(166ページ2行目～4行目)さらにクルツェンは二〇〇〇年五月、彼とは独立に人新世の名称を考案していた生物学者のユージン・F・ステルマーとともに共著論文“The ‘Anthropocene’”を、二〇〇二年には単著論文“Geology of Mankind”を発表、晴れて「人新世」の公式デビューとなつた。</p> <p>③(166ページ15行目～18行目)たとえば、二〇一六年八月に行われた第三五回国際地質学会議での検討作業では、「人新世」を正式に採用するかどうかについて、賛成三〇／反対三(棄権二)という投票結果が示された。承認プロセスにはほかの三学術団体による同意を必要とするため、最終決定にはさらに数年を要すると思われるが、この調子でいけば正式に採用されるのではないかという勢いである。</p> <p>④(167ページ1行目)人新世とはなにか</p> <p>⑤(170ページ7行目)人新世における人間</p>	<p>①削除 ②③削除 ④⑤削除</p>	<p>①学習上の配慮 ②③分量の調節 ④⑤学習上の配慮</p>

ウェブページのアドレス等の掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	8	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	QRコードフロントページ。ウェブコンテンツ一覧。	別紙1
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。教材「境目」(10ページ)の参考資料として、県境・国境についての画像を掲載。	別紙2
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	日本科学未来館ホームページにリンク。教材「サイエンスの視点、アートの視点」(16ページ)の参考資料として、フラクタル図形・シェルピンスキーフラクタルの解説を掲載。	別紙3
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	岡本太郎記念館ホームページにリンク。教材「サイエンスの視点、アートの視点」(16ページ)の参考資料として岡本太郎に関する情報を掲載。	別紙4
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	Youtubeにリンク。言語活動「メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう」(81ページ)の参考資料として、マララ・ユサフザイさんの国連でのスピーチ映像を紹介。	別紙5
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。「失われた両腕」(86ページ)の参考資料として、「ミロのヴィーナス」の復元案を掲載。	別紙6
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	ナショナルジオグラフィックHPにリンク。教材「兎が自分でつづって語る生活の話」(94ページ)の参考資料として、「ワタオウサギ」の動画を紹介。	別紙7

申請図書		学習上の参考に供する情報				備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1 8	8	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	日本経済新聞オンラインにリンク。言語活動「社会をつくることば」(100ページ)の参考資料として、「外国籍児1万9千人が不就学か 文科省、初の全国調査」の記事を紹介。	別紙8
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	文化庁HPにリンク。言語活動「社会をつくることば」(100ページ)の参考資料として、「日本語教育の推進に関する法律」の全文を紹介。	別紙9
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	統計省統計局HP「なるほど統計学園」にリンク。参考「ナイチンゲールが作成した統計図表」(104ページ)の参考資料として、データの探し方やグラフの作り方について掲載。	別紙10
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。参考「ナイチンゲールが作成した統計図表」(104ページ)の参考資料として、実社会におけるグラフの具体例を掲載	別紙11
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。参考「ナイチンゲールが作成した統計図表」(104ページ)の参考資料として、不適切なグラフの具体例を掲載	別紙12
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	厚生労働省HPにリンク。教材「誰かの靴を履いてみること」(108ページ)の参考資料として、「ボランティア活動」の解説を掲載。	別紙13
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。教材「魔術化する科学技術」(130ページ)の参考資料として、131ページ掲載図版の全体図を紹介。	別紙14
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	筑摩書房HPにリンク。教材「未来は存在しない」(137ページ)の参考資料として。	別紙15
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	公益財団法人国際文化会館HPにリンク。教材「ポスト真実時代のジャーナリズム」(154ページ)の参考資料として著者のインタビューを掲載。	別紙16

申請図書		学習上の参考に供する情報				備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	8	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。教材「会話と対話」(160ページ)の参考資料として、『氷川清話』(勝海舟)の一節を掲載。	別紙17
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	伊藤亜紗HPにリンク。教材「記憶する体」(165ページ)の参考資料として本文に関連するインタビューの詳細を掲載。	別紙18
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	聞き書き甲子園HPにリンク。言語活動「インタビューの作法」(174ページ)の参考資料として掲載。	別紙19
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	ビブリオバトル公式サイトにリンク。言語活動「ビブリオバトルに挑戦しよう」(176ページ)の参考資料として掲載。	別紙20
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。教材「贊沢の条件」(178ページ)の参考資料として、中世ドイツの職人の姿を描いた図版を掲載。	別紙21
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	元興寺HPにリンク。教材「瓦を解かないと」(184ページ)の参考資料として、「元興寺」の情報を紹介。	別紙22
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	全陶連HPにリンク。教材「瓦を解かないと」(184ページ)の参考資料として、「瓦」についての情報を紹介。	別紙23
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	筑摩書房HPにリンク。言語活動「宣伝のことば」(190ページ)の参考資料として、中高生POPコンクールの入賞作品を紹介。	別紙24
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	毎日広告デザイン賞HPにリンク。言語活動「宣伝のことば」(190ページ)の参考資料として、192ページ掲載図版の関連情報を紹介。	別紙25

申請図書		学習上の参考に供する情報				備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	8	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	郵便局HPにリンク。言語活動「生活の中のことば」(193ページ)の参考資料として、「手紙の書き方」の解説を掲載。	別紙26
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	NHK HPにリンク。言語活動「生活の中のことば」(193ページ)の参考資料として、作家たちの手紙を紹介。	別紙27
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。「実践 意見を文章にまとめてみよう」(210ページ)の参考資料として、211ページの「推敲表」を拡大して掲載。	別紙28
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	日本ハラール協会HPにリンク。教材「開かれた文化」(214ページ)の参考資料として、イスラム教における「ハラール」についての情報を紹介。	別紙29
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	日本地質学会ホームページにリンク。「人新世における人間」(222ページ)の参考資料として、地質年代区分表を紹介。	別紙30
		二次元コード	自社ページ	自社ページURL	PDF。教材「名づけと所有」(232ページ)の参考資料として、「コロンブス」の画像を掲載。	別紙31

(備考)

申請図書中に発行者が管理するウェブページのアドレス又は二次元コードその他のこれに代わるものを作成する場合に、本表を以下のとおり作成する。

1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

① 「番号」の欄は、複数のページ等に掲載されたウェブページのアドレス等が同一のウェブページを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。

② 「ページ」の欄は、ウェブページのアドレス等の申請図書における掲載ページを示す。

③ 「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。

2 「学習上の参考に供する情報」の欄については次のとおりとする。

① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考に供するページを作成する団体名などを記入する。

② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考に供するページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と

③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	

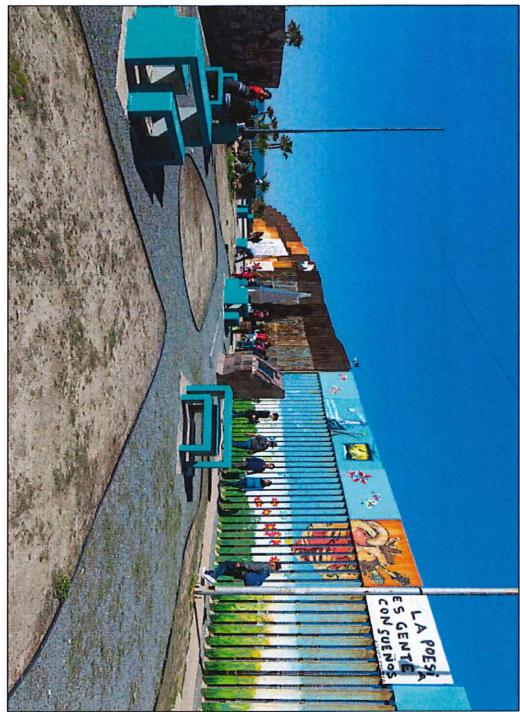
3 申請図書中のウェブページのアドレス等が参照させるウェブページの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。
 4 学習上の参考に供する情報を示すウェブページが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブページの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。
 その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

* 各コンテンツ名をクリックしてください。参考資料のページに移動します。

目次	ページ	コンテンツ名	概要
第1章 問うこと、語ること			
境目	10	さまざまな境目(PDF)	さまざまな県境・国境の写真です。
サイエンスの視点、アートの視点	16	フラクタル図形・シェルピン斯基ー四面体の解説 (京都大学ウェブサイトより) 岡本太郎について(岡本太郎記念館ウェブサイト より)	「サイエンスの視点、アートの視点」に紹介されている「フラクタル図形」・「シェルピン斯基ー四面体」について、詳しく解説したウェブページです。 岡本太郎に関する詳しい情報を掲載したウェブページです。
第3章 ことばで伝える思いと考え			
実践 メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう	81	マララ・ユサフザイ氏の国連でのスピーチ映像 (Youtubeより)	「活動例」で取り上げたマララ・ユサフザイ氏の国連でのスピーチ動画です。
第4章 情報と推論			
失われた両腕	86	ミロのヴィーナス復元案(PDF)	「ミロのヴィーナス」に両腕を足した復元案です。
兎が自分でつづって語る生活の話	94	動物大図鑑・ワタオウサギ(ナショナルジオグラフィックウェブサイトより)	「ワタオウサギ」の動画です。
実践 社会をつくることば	100	「外国籍児1万9千人が不就学か 文科省、初の全国調査」(日本経済新聞オンラインより) 「日本語教育の推進に関する法律について」(文化庁ウェブサイトより)	教科書掲載の記事「外国籍児1万9千人が不就学か 文科省、初の全国調査」のウェブページです。 「日本語教育の推進に関する法律」の全文が掲載されたウェブページです。
参考 ナイチンゲールが作成した統計図表	104	「なるほど統計学園」(総務省統計局ウェブサイトより) 実社会におけるグラフの具体例(PDF) 不適切なグラフの具体例(PDF)	統計の種類やグラフの作り方、統計用語などを紹介しています。「統計エピソード集」ではナイチンゲールの話も掲載しています。 実社会におけるグラフの具体例です。 不適切なグラフの具体例です。

第5章 「話し合い」から「議論」へ			
誰かの靴を履いてみること	108	ボランティア活動(厚生労働省ウェブサイトより)	「ボランティア活動」の解説をしたウェブページです。
第6章 「根拠」から「主張」へ			
魔術化する科学技術	130	15世紀に描かれた世界図(PDF)	教科書掲載の図版の全体図です。
未来は存在しない	137	『それいけ論理さん』特設サイト(筑摩書房ウェブサイトより)	著者・野矢茂樹が論理的思考について楽しくわかりやすく紹介した書籍の紹介ウェブページです。
第7章 伝えること、受け止めること			
ポスト真実時代のジャーナリズム	154	国谷裕子氏インタビュー「報道の現場から世界を見て」(公益財団法人国際文化会館ウェブサイトより)	著者・国谷裕子が、仕事に対する想いや国内外のジャーナリズムの現状について語っているインタビューのウェブページです。
会話と対話	160	『氷川清話』(勝海舟)(PDF)	「会話と対話」で紹介している「氷川清話」の一節です。
記憶する体	165	「中瀬恵里さんインタビュー」(伊藤亜紗公式ウェブサイトより)	本文のもとになった、著者・伊藤亜紗による中瀬恵理さんへのインタビューのウェブページです。
実践 インタビューの作法	174	「聞き書き甲子園」ウェブサイト	インタビューの実例として、「聞き書き甲子園」のウェブページです。
実践 ビブリオバトルに挑戦しよう	176	「ビブリオバトル」公式ウェブサイト	ビブリオバトルについての公式ウェブサイトです。
第8章 表現のみがき方			
贅沢の条件	178	中世ドイツの職人(PDF)	中世の職人を描いた当時の図版です。
瓦を解かないこと	184	「元興寺」ウェブサイト	本文に取り上げられた「元興寺」のウェブサイトです。
		「全陶連」ウェブサイト	「瓦」についての情報を掲載したウェブページです。
実践 宣伝のことば——ポップ・広告	190	岩波ジュニア新書&ちくまプリマ一新書合同企画 中高生POPコンクール入賞作品(筑摩書房ウェブサイトより)	中高生POPコンクールの入賞作品を紹介したウェブページです。

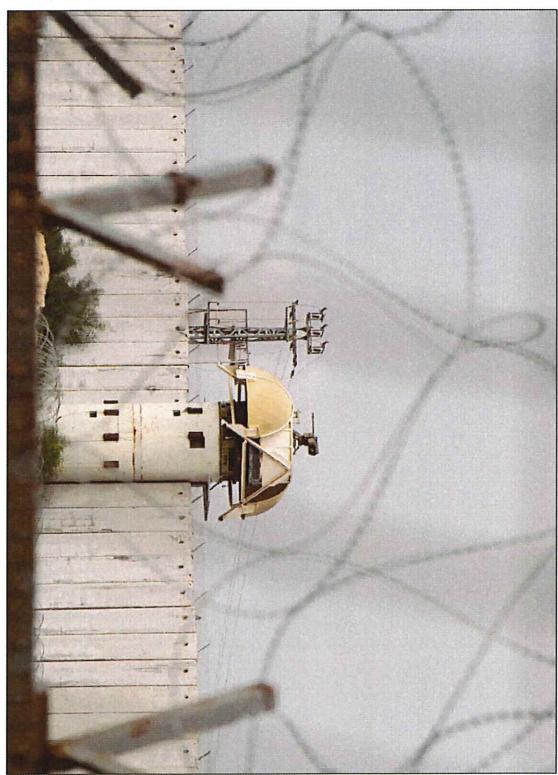
		「毎日広告デザイン賞」ウェブサイト	「発展」で取り上げた広告を紹介したウェブページです。
実践 生活の中のことば——手紙・メール	193	「手紙の書き方 体験授業」(郵便局ウェブサイトより)	「手紙の書き方」について解説したウェブページです。
		「手紙」(NHK for schoolウェブサイトより)	作家たちの手紙を紹介したウェブページです。
第9章 主張の論理的な伝え方			
実践 意見を文章にまとめてみよう	225	推敲表(PDF)	211ページの「推敲表」を拡大して掲載しています。
第10章 複眼的な視点			
開かれた文化	214	ハラールとは(「日本ハラール協会」ウェブサイトより)	イスラム教における食文化「ハラール」についての情報を紹介したウェブページです。
人新世における人間	222	地質年代区分表(日本地質学会ウェブサイトより)	参考資料として、地質年代区分表を紹介しています。
名づけと所有	232	コロンブスの肖像画 (PDF)	コロンブスの肖像画の図版です。



メキシコ合衆国側から見た、メキシコ合衆国とアメリカ合衆国の国境に作られたフェンス



山口県と福岡県の国境 (山口トンネル付近)



ガリソン塔側から見た、パレスチナ・ザマリヤとイスラエルの国境に作られた壁 Guri Tower



東京都と神奈川県の国境 (多摩水門付近)

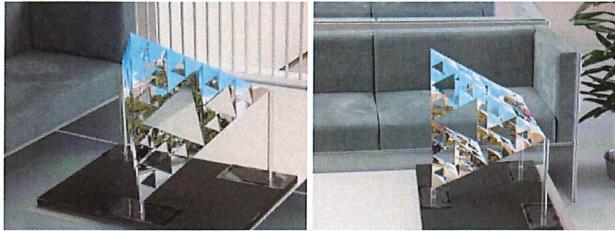
2024/04/05 14:58

シェルビンスキーフラクタル (Sierpinski Tetrahedrons)

フラクタル・ユニバーシティ KYOTO

--- シエルビンスキーフラクタルの芸術 ---

シェルビンスキーフラクタルの、それぞれの四面体に絵を張りました。



別の角度からみると、このように見えます。

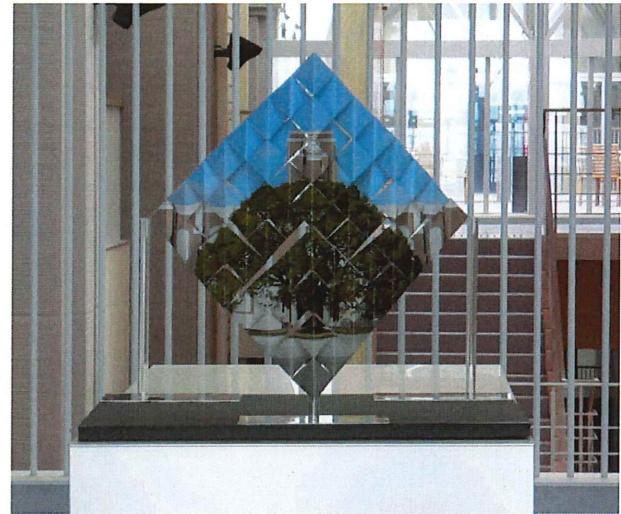


丁度ある辺の方向からみると、一枚の絵が現れます。

これは、時計台の写真です。

2024/04/05 14:58

シェルビンスキーフラクタル (Sierpinski Tetrahedrons)



反対側からみると、別の絵が現れます。

<https://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/users/tsuki/sierpinski/index.html>

1/4

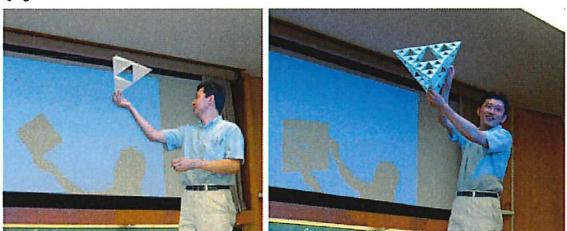
2024/04/05 14:58

シェルビンスキーフラクタル (Sierpinski Tetrahedrons)

これは、京都大学のロゴです。



なぜこのようなことができるかは、これらの写真を見ながら考えてみてください。



次に、[この解説](#)を読んでください。正四面体も、シェルビンスキーフラクタルも、3つの直交する方向から射影すると、正方形の影ができます。

- 製作 : 2005年2月

- [Thanks](#)

<https://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/users/tsuki/sierpinski/index.html>

2/4

2024/04/05 14:58

シェルビンスキーフラクタル (Sierpinski Tetrahedrons)

よりたくさんの写真は、以下よりご覧ください。



Copyright © 2005 Hideki Tsuki

このページの写真の無断複製を禁じます。

2024/04/05 15:00

マララ・ユサフザイさんの国連本部でのスピーチ (7月12日) 日本語字幕 - YouTube

JP

検索



2024/04/05 15:00

マララ・ユサフザイさんの国連本部でのスピーチ (7月12日) 日本語字幕 - YouTube

JP

Q



5



マララ・ユサフザイさんの国連本部でのスピーチ (7月12日) 日本語字幕

国連広報センター (UNIC)
チャンネル登録数 2,03万人

チャンネル登録

2127



共有



オフライン

28万回視聴 10年前
マララ・ユサフザイさんの国連本部でのスピーチ (2013年7月12日)

テキスト全文 (日本語) : http://www.unic.or.jp/news_press/feat... もっと見る



モンスト
スポンサー・www.monster-st...

詳細



すべて 提供: 国連広報センター (UNIC) マララ・ユサフザイ 世界のニュース 政治ニュース 関連動画 >

社会人経験なしでもハンデにならない
R.e就活にはあなたを応援する企業が多数掲載。就職ノウハウも専門ではじめての就活でも安心。

スポンサー・R.e就活

YouTube Premium

広告なしで YouTube をご利用いただけます。

参加しない 1か月間無料

<https://www.youtube.com/watch?v=aGqcWmCJ8gM>

1/3

<https://www.youtube.com/watch?v=aGqcWmCJ8gM>

日本語字幕

2/3

2024/04/05 15:00

マララ・ユサフザイさんの国連本部でのスピーチ (7月12日) 日本語字幕 - YouTube

YouTube JP



マララ・デー：すべての子どもに教育を (2013年7月12日)
国連広報センター (UNIC Tokyo)
10万回視聴 10年前

「だから私たちは広島に来る」：オバマ氏広島演説・ノーカット版
毎日新聞
40万回視聴 7年前

『わたしはマララ』ベンの日 特別映像解禁
MOVIE WALKER PRESS
1.2万回視聴 8年前

J.K. Rowling Speaks at Harvard Commencement
Harvard Magazine
594万回視聴 12年前

Malala Yousafzai: Fearless Voice for Education & Nobel Peace Laureate
Nobel Peace Center
13万回視聴 2年前

Malala Yousafzai UN Speech: Girl Shot in Attack by Taliban Gives Address | The New York Times
The New York Times
157万回視聴 10年前

もっと見る

YouTube Premium

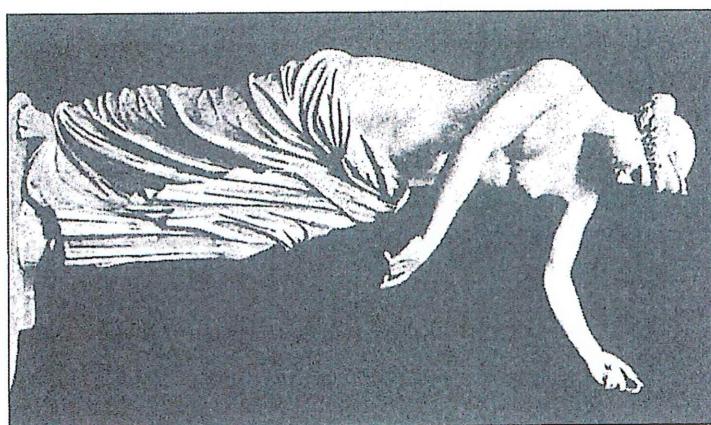
広告なしで YouTube をご利用いただけます。

1か月間無料

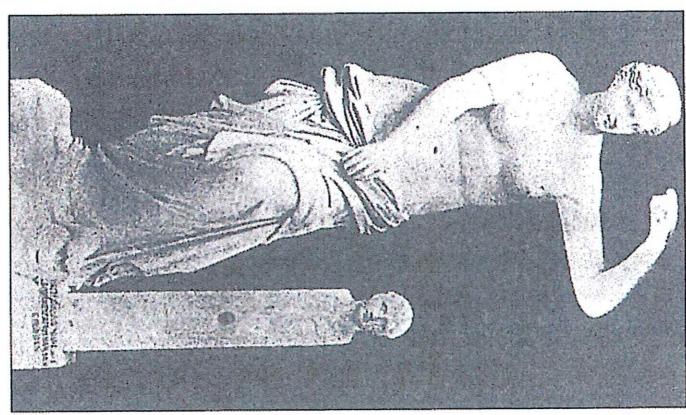
<https://www.youtube.com/watch?v=aGqcWmCJ8gM>

3/3

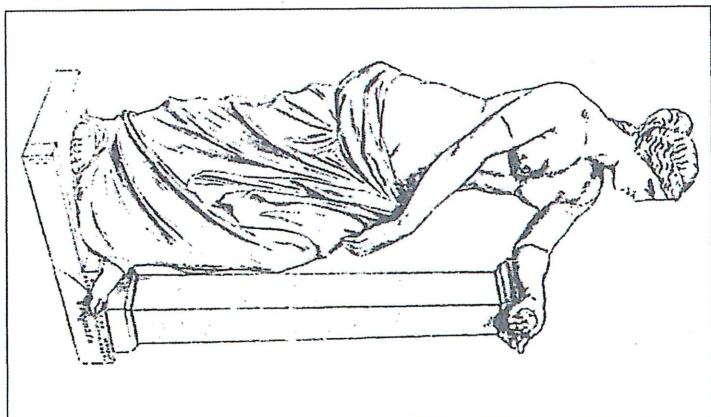
ミロのヴィーナス 復元案



カプアのヴィーナス



タルルの復元図



フルトウェングラーの復元図

外国籍児1万9千人が不就学か 文科省、初の全国調査

社会・暮らし

2019年9月27日 18:20

保存



横浜市の日本語支援拠点施設「ひまわり」で学ぶ来日間もない外国の子供たち

文部科学省は27日、外国籍の子どもの就学状況について初めての全国調査の結果を公表した。日本に住む義務教育相当年齢の外国籍児12万4049人のうち、15.8%に当たる1万9654人が、国公私立校や外国人学校などに在籍していない不就学の可能性があることが判明した。

外国人労働者の受け入れが拡大する中、不就学児童の増加が懸念されており、就学支援や日本語教育の充実などが求められている。

調査は2019年5月時点で把握している状況について、市区町村教育委員会に報告を求めた。調査対象とした12万4049人のうち、各教委から11万4214人について報告があり、うち10万1399人が日本の中学校や外国人学校などに通っていた。

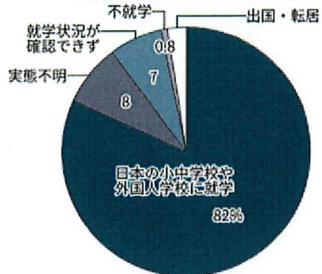
残りの外国籍児のうち、実際に不就学だったのは1000人で、教委が家庭訪問などをしたが就学が確認できなかったのが8768人いた。さらに9886人については住民基本

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO50308100X20C19A9CR8000/>

台帳には登録されていたが、そもそも確認の対象にしていないため、実態がつかめていない。文科省はこれらを合計した1万9654人について不就学の可能性があると判断した。

文科省によると、外国籍の子どもが公立の学校に就学を希望した場合、国際人権規約などを踏まえて入学できる。ただ就学の義務はなく状況確認の対象外としている教委もある。

外国人の子どもの就学状況



(注)日本の中学生に当たる年齢の外国籍児の状況

不就学の可能性がある子どもは都道府県別では東京都の7898人が最も多く、神奈川県（2288人）、愛知県（1846人）が続く。政令市では横浜市（1675人）や大阪市（1117人）が多かった。

外国籍の子どもが1人以上いたのは1196市区町村で全体の68.7%。全体の約3分の1の市区町村が、外国籍の子どもがいる家庭に小中学校入学前に就学案内を送っていたが、日本語教育の指導者がいるのは502市区町村で、指導者4252人のうち常勤は6%で非常勤やボランティアが多かった。

横浜市は17年9月、来日間もない子どもに1ヵ月間、日本語などを教える日本語支援拠点「ひまわり」を開設した。日本の学校に週2日、ひまわりに3日通う。出川進校長は「学校に早くはじめよう、自分の気持ちや体調を言える水準にしてあげたい。外国籍の子どもには他国との懸け橋になってほしい」と話す。

外国人教育に詳しい愛知淑徳大の小島祥美准教授は「学校は多文化教育などを通じて子どもたちの外国への理解を深め、外国籍の子どもたちの仲間づくりを後押ししてほしい」と指摘している。

2024/04/05 15:01

外国籍児1万9千人が不就学か 文科省、初の全国調査 - 日本経済新聞

[アプリで聞く](#)

1/8

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO50308100X20C19A9CR8000/>

2/8

2024/04/05 15:01

外国籍児1万9千人が不就学か 文科省、初の全国調査 - 日本経済新聞

「無国籍」社会から置き去り（真相深層）

2019年7月6日



多国籍化、首都圏の街変える カタカナ印鑑・新中華街

2019年7月10日



春割ですべての記事が読み放題
有料会員が2ヵ月無料

春割で無料体験する

[無料会員に登録する](#)

[ログインする](#)

有料会員限定

キーワード登録であなたの
重要なニュースを
ハイライト



日経電子版 紙面ビューアー

[詳しく見る](#)

保存



関連記事

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO50308100X20C19A9CR8000/>

3/8

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO50308100X20C19A9CR8000/>

4/8

速報ニュース

14:37 ウーバー、自家用車のライドシェア実演 8日から始動

14:13 東証14時 日経平均、安い水準で一進一退 押し目買いが下支え

14:11 湿池屋、ポテトチップスなど賞味期限延長 「年月」表示も

14:10 外為14時 円相場、上昇 151円台前半

14:10 ワークポート、佐賀で転職支援 人材需要対応へ支社開設

アクセスランキング

15:00 更新

1. 日経平均一時900円安 日本株賃う中東リスクオフの波
2. イスラエルの誤算、世論読み替え孤立 ハマスと衝突半年
3. 「上司の顔色ばかり」「やばい意識薄く」 不正企業の内幕は
4. 「紅麹」有毒成分、カビが外部混入か 23年製造3割で検出
5. 常勝ドンキの挫折 パンパシHD、アジアで売り場が迷走

特集記事（PR）はこちら

適「AI」適所 生成AI使い分け術

NIKKEIリスクリソース

POINT特集
生成AIは
比べて使い分ける時代に
AIコンサルタント
吉田 洋輔

持続可能な経営のあり方を学ぶ講座

PR スキルアップ



ポーチとして使えるレザーサコッシュ

PR 未来ショッピング



問診で聞かれる「家族歴」なぜ重要？

Gooday

サロン級！進化中の美容機器に注目
THE NIKKEI MAGAZINE

同世代の年収っていくらぐらい？

PR 日経転職版



サステナブルデザインがもたらす変革

PR 世界の高級不動産



知っておくと便利な無料AIツール群

BizGate

<https://www.nikkei.com/article/DGXMXZO50308100X20C19A9CR8000/>

5/8

2024/04/05 15:01

外国人9千人が不就学か 文科省、初の全国調査 - 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXMXZO50308100X20C19A9CR8000/>

6/8

2024/04/05 15:01

外国人9千人が不就学か 文科省、初の全国調査 - 日本経済新聞

セレクション

未来面「未来の子どもたちのために何ができるですか？」
読者のアイデアと大和ハウス工業の構評日経優秀製品・サービス賞2023
素材けん引 「コロナ後」対応 35点を紹介NIKKEI ニュースレター
日経電子版が提供するニュースレターサービス「NIKKEI Briefing」などのご登録はこちらBSテレ東
「日経ニュースプラス9」「NIKKEI 日報サロン」論説フェローや記者が出演

日本経済新聞社の関連サイト

日本経済新聞社について

日経電子版について

サイトポリシー | サイトマップ | 利用規約 | ヘルプセンター | よくある質問 | 訂正・おわび |著作権 |
リンクポリシー | クッキーポリシー | 外部送信 | プライバシーセンター | 電子版広告ガイド | 法人のお客さま

No reproduction without permission

お問い合わせ

サイトに関するご意見ご要望

トレンドウォッチ

新着注目ビジネスライフスタイル

新着注目ビジネスライフスタイル

新着注目ビジネスライフスタイル



政策について

行事・シンポジウム

広報・報道・お知らせ
統計・

ホーム > 政策について > 文化行政の基盤 > 所管の法令等 > その他 > 日本語教育の推進に関する法律について

ホーム > 政策について > 文化行政の基盤 > 所管の法令等 > その他 > 日本語教育の推進に関する法律について

日本語教育の推進に関する法律について

[日本語教育の推進に関する法律（概要）](#) (585KB)

[日本語教育の推進に関する法律（全文）](#) (153KB)

[日本語教育の推進に関する法律の施行について（通知）](#)

[日本語教育推進会議](#)

[日本語教育推進関係者会議](#)

[日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（令和2年6月23日閣議決定）（概要）](#) (201.9KB)

[日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（令和2年6月23日閣議決定）](#) (281.5KB)

[日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針について（通知）（令和2年6月23日）](#)

[日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（令和2年6月23日閣議決定）（概要）英訳版](#) (87.7KB)

[日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（令和2年6月23日閣議決定）英訳版](#) (220.1KB)

PDF形式を御覧いただくためには、Adobe Readerが必要となります。

お持ちでない方は、[こちら](#)からダウンロードしてください。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/index.html

1/2

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/index.html

2/2

文化庁の紹介

[文化庁長官](#)
[文化庁の組織](#)
[文化庁窓内図](#)
[所管の法人等](#)
[シンボルマークについて](#)
[文化庁創立50周年](#)

政策について

[文化行政の基盤](#)
[芸術文化](#)
[文化財](#)
[著作権](#)
[国際文化交流・国際貢献](#)
[国語施策・日本語教育](#)
[宗教法人と宗務行政](#)
[博物館](#)
[各種助成金・支援制度一覧](#)
[文化審議会・懇談会等](#)
[日本博](#)
[食文化](#)
[文化観光](#)
[食文化推進本部・文化観光推進本部](#)

行事・シンポジウム

[広報・報道・お知らせ](#)
[報道発表](#)
[その他のお知らせ](#)
[日本文化の海外発信](#)
[広報](#)
[統計・白書・出版物](#)
[統計・調査研究等](#)
[白書・年次報告等](#)
[出版物・パンフレット等](#)

情報公開・個人情報保護 文化庁
ウェブアクセシビリティについて
Copyright © 2024, Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



初級 上級 参考

統計局ホーム サイトマップ お問い合わせ リンク集



初級

はじめに

統計のできるまで

データの探し方（初級編）

グラフの作り方（初級編）

特徴を捉える（初級編）

統計クイズ王！

上級

統計の種類

データの探し方（上級編）

グラフの作り方（上級編）

特徴を捉える（上級編）

特性の推測

問題の解決

参考

統計用語辞典

統計調査のくわしい話

統計エピソード集

参考

もっと見る

もっと見る

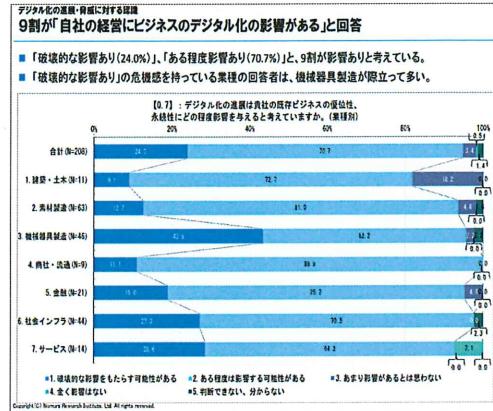
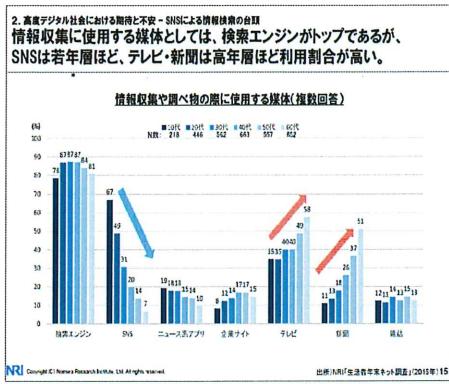
もっと見る

不
PAGETOP



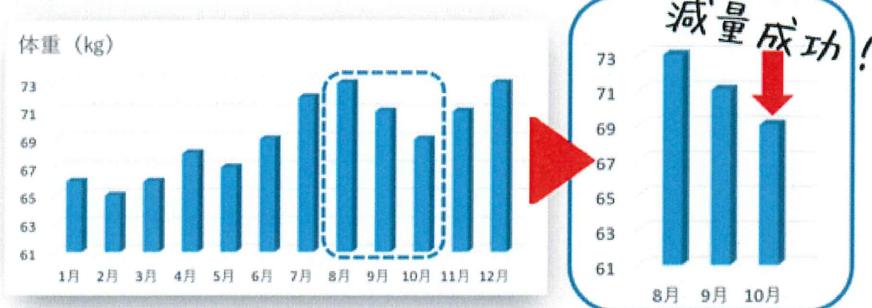
総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎
TEL 03-5273-2020 (代)
Copyright(c)2021 総務省 統計局 All rights reserved.

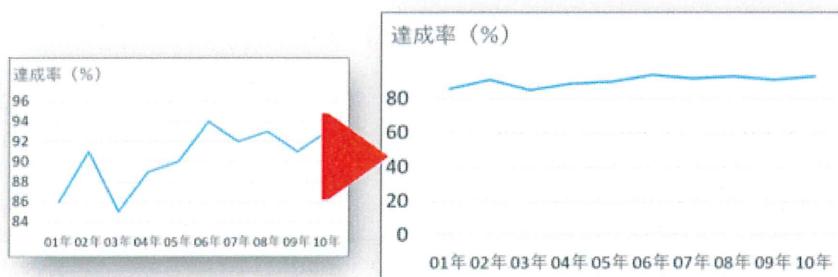


〈グラフもウンをつく！？〉

例1



例2



例3

